

平成二十六年度

高山市近代文学館調査・研究報告書

平成二十七年三月

一般社団法人 高山市文化協会

序

一般社団法人 高山市文化協会は、高山市から委託を受けて、郷土に係わりのある文学者の作品を収集・調査し、その功績を「高山市近代文学館・研究報告書」及び「近代文学館企画展」に於いて、毎年市民の皆様を紹介しています。

昨年が、高山市名誉市民である文学者「瀧井孝作」の没後三十年にあたることから、今まで整理した資料の他、その後収集した文学作品、俳句資料等を再度整理する目的もあって、近代文学館企画展「瀧井孝作没後三十年展」及び「俳人『折柴』」を開催しました。

本年度の研究報告書には、企画展において展示した「瀧井孝作」執筆による、文学作品・俳句資料を掲載し、将来の研究に資したいと考えています。

今後とも、郷土に係わりのある文学者の功績を紹介し、地域の学術・文学の振興と普及のため、引き続き資料の収集と調査を実施いたします。

平成二十七年三月
一般社団法人 高山市文化協会

目次

1	書誌一掲載、出版..... 1	1. 43	昭和 27 年..... 23	2	書・絵画など..... 81
1. 1	明治 42 年..... 1	1. 44	昭和 28 年..... 24	2. 1	絵画..... 81
1. 2	明治 44 年..... 1	1. 45	昭和 29 年..... 25	2. 2	小町谷新子芋版画..... 81
1. 3	大正 1 年..... 1	1. 46	昭和 30 年..... 26	2. 3	書..... 81
1. 4	大正 2 年..... 1	1. 47	昭和 31 年..... 27	2. 4	写真..... 82
1. 5	大正 3 年..... 2	1. 48	昭和 32 年..... 28	2. 5	書簡..... 83
1. 6	大正 4 年..... 3	1. 49	昭和 33 年..... 29	2. 6	俳句..... 83
1. 7	大正 5 年..... 3	1. 50	昭和 34 年..... 30	2. 7	その他..... 84
1. 8	大正 6 年..... 3	1. 51	昭和 35 年..... 32	3	その他出来事など..... 85
1. 9	大正 7 年..... 3	1. 52	昭和 36 年..... 34		
1. 10	大正 8 年..... 3	1. 53	昭和 37 年..... 34		
1. 11	大正 9 年..... 4	1. 54	昭和 38 年..... 35		
1. 12	大正 10 年..... 4	1. 55	昭和 39 年..... 36		
1. 13	大正 11 年..... 4	1. 56	昭和 40 年..... 37		
1. 14	大正 12 年..... 4	1. 57	昭和 41 年..... 37		
1. 15	大正 13 年..... 5	1. 58	昭和 42 年..... 39		
1. 16	大正 14 年..... 5	1. 59	昭和 43 年..... 40		
1. 17	大正 15 年..... 6	1. 60	昭和 44 年..... 42		
1. 18	昭和 2 年..... 6	1. 61	昭和 45 年..... 44		
1. 19	昭和 3 年..... 7	1. 62	昭和 46 年..... 45		
1. 20	昭和 4 年..... 7	1. 63	昭和 47 年..... 47		
1. 21	昭和 5 年..... 8	1. 64	昭和 48 年..... 49		
1. 22	昭和 6 年..... 8	1. 65	昭和 49 年..... 51		
1. 23	昭和 7 年..... 9	1. 66	昭和 50 年..... 54		
1. 24	昭和 8 年..... 9	1. 67	昭和 51 年..... 56		
1. 25	昭和 9 年..... 10	1. 68	昭和 52 年..... 59		
1. 26	昭和 10 年..... 10	1. 69	昭和 53 年..... 61		
1. 27	昭和 11 年..... 11	1. 70	昭和 54 年..... 64		
1. 28	昭和 12 年..... 12	1. 71	昭和 55 年..... 67		
1. 29	昭和 13 年..... 12	1. 72	昭和 56 年..... 68		
1. 30	昭和 14 年..... 13	1. 73	昭和 57 年..... 70		
1. 31	昭和 15 年..... 14	1. 74	昭和 58 年..... 72		
1. 32	昭和 16 年..... 14	1. 75	昭和 59 年..... 72		
1. 33	昭和 17 年..... 15	1. 76	昭和 60 年..... 73		
1. 34	昭和 18 年..... 16	1. 77	昭和 61 年..... 74		
1. 35	昭和 19 年..... 17	1. 78	昭和 62 年..... 75		
1. 36	昭和 20 年..... 17	1. 79	平成元年..... 75		
1. 37	昭和 21 年..... 17	1. 80	平成 2 年..... 76		
1. 38	昭和 22 年..... 19	1. 81	平成 3 年..... 76		
1. 39	昭和 23 年..... 20	1. 82	平成 4 年..... 76		
1. 40	昭和 24 年..... 20	1. 83	平成 10 年..... 77		
1. 41	昭和 25 年..... 21	1. 84	平成 11 年..... 77		
1. 42	昭和 26 年..... 22	1. 85	平成 16 年..... 77		
		1. 86	平成 17 年..... 77		
		1. 87	その他資料..... 77		

※本資料は、昭和 52 年刊の『瀧井孝作文学書誌』を基に、高山市近代文学館に収蔵されている関連資料を交えて年代順に分類したものです。

収蔵されている作品に関しては全て掲載し、書誌の中に記載が有り収蔵されていないもので、書評などを除き「作品」と思われるものについては、斜体で記しています。

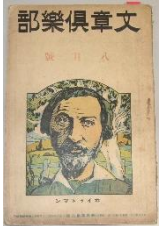
また、収蔵されてい本の中で瀧井孝作に関する記述のあるものに関しても、(参考)図書として併記しました。

なお、「書」などの出版物以外のものは、別記しました。

1 書誌一掲載、出版

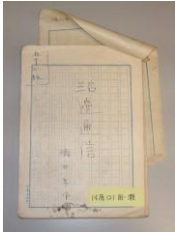
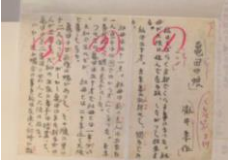
月	「作品名」『書名/掲載誌』[出版社]等	資料番号	資料写真・特記事項
1.1 明治 42 年			
-	俳句1句「夜長」 『ホトギス』第13巻第1号[ほととぎす発行所]	20本瀧展081	H20展示中 ・筆名 折柴
-	(参考)『ホトギス』抜書 ○第12巻第12号(M42.9.1)～巻號忘(M43.10.1)の關係 箇所抜書き(追記あり)	17そ108図-瀧	※M42.7～M43.7まで投句 ・筆名 折柴
-	(参考)『日本及日本人』抜書 ○515号(M42.8.15)～677号(T5.4.1)關係箇所の抜粋	17そ106図-瀧	※M42.9～T4.3まで投句 ・筆名 折柴
1.2 明治 44 年			
8	俳句1句「蛙」『日本及日本人』	17そ103図-瀧	・564号(M44.8.15)のコピー ・筆名 折柴
-	『層雲』		※M44.7～T2.12まで投句
1.3 大正 1 年			
-	『紙衣(カミコ)』		※T1.7～T3.9まで投句
12	吟行10句「有馬まで」 『層雲』第2巻第9号[層雲社](複写)	18切瀧収077	・筆名 折柴
1.4 大正 2 年			
3	俳句4句「雪」他『日本俳句鈔』2		・[政教社]、碧梧桐選、筆名 折柴
4	小説「息」 『層雲』第3巻第1号[層雲社]	18本瀧収071	・筆名 折柴
5	吟行6句「六甲まで」 『層雲』第3巻第2号[層雲社]	18本瀧収072 18切瀧収077	・筆名 折柴

月	「作品名」『書名/掲載誌』[出版社]等	資料番号	資料写真・特記事項
6	(参考)『層雲』6月號	18本瀧収073	・第3巻第3號
			
7	俳句11句、「編輯室より」 『化学工業』第1巻第2號[化学工業社]	17そ101図-瀧	※ 孝作が編輯にあたった(P50参照) ・筆名 折柴
			
8	随筆「京都にて」 『化学工業』第1巻第3號[化学工業社]	17そ102図-瀧	・筆名 孝作、収『志賀さんの生活など』
			
9	小説「皮を脱いで」『層雲』		・第3巻第6號[層雲社]、筆名 孝作
1.5 大正 3 年			
1	小説「ほんたうの事」 『層雲』第3巻第10號[層雲社]	18本瀧収074	・筆名 孝作
			
1	小品「巷より」『大阪實業日報』	14切134-2図一瀧	
			
			・1/1、(切り取り)。筆名 紅咲
-	『土蜘蛛(ツチグモ)』 ※ T3.3～T6.7まで投稿		・書誌より
3	随想「我れがまゝ」 『ツチグモ』創刊號	17そ120図-瀧 20切瀧収065 20切瀧収066	・筆名 孝作 ※ 資料は創刊號より21號までをファイルしたもの
			
6	随想「死沼の底」『ツチグモ』第2號	17そ120図-瀧	・(写真既出)、筆名 孝作
7	小説「夜の鳥」 『大阪実業日報』(86回連載) 12	14切134-1図一瀧	
			
			・(切り取り)。筆名 子鵜
7	「二十一の旅」-「太陽一つ」「高山の下駄」(3回(上))『層雲』		・第4巻第4號、筆名 孝作
8	「二十一の旅」-「北緯何度」(3回(中))『層雲』		・第4巻第5號、筆名 孝作
8	「嫩草紙」『ツチグモ』 (小品5点「雨水」「虚空」「行路」「織物」「船の腹」)		・第3號、筆名 孝作

月	「作品名」『書名/掲載誌』[出版社]等	資料番号	資料写真・特記事項
1.6 大正 4 年			
1 2	小説「上京」 『大阪實業日報』(21回連載)	14切134-2図一瀧	 ・(切り取り)。筆名 子鶴
1 - 3 3 3 4 6	小品「正月」『ツチグモ』 - 俳誌『海紅』 ※T4.3から投稿 小説「病魔」 俳誌『海紅』 小説「二十一の旅」-「飛騨匠の流れ」(3回(下))『層雲』 小品「いぬ」『ツチグモ』 小説「若者」 『大阪實業日報』(22回連載)	17そ120図-瀧 17そ120図-瀧 14切134-3図一瀧	・第5號、(写真既出)、筆名 孝作 ・創刊號、筆名 孝作 ・第4巻第12號、筆名 孝作 ・第6號、(写真既出)、筆名 孝作  ・(切り取り)。筆名 子鶴
5 6	小品「列車のスケッチ」 俳誌『海紅』 感想「個的信仰」『ツチグモ』	 17そ120図-瀧	・第1巻第3號、筆名 孝作 ・第8號、(写真既出)、筆名 KUS
1.7 大正 5 年			
1 2 5 6 8 11	小説「職業のある迄」『海紅』 「飛騨學寮より」『ツチグモ』 「飛騨高山の春-ノートより-」『ツチグモ』 小品「江の島にて」『海紅』 「北條の海」『海紅』 「樅の木の下にて」『土蜘蛛』	 17そ120図-瀧 17そ120図-瀧 17そ120図-瀧	・第1巻第11號、筆名 瀧井孝作 ・第12號、(写真既出)、筆名 孝作 ・第13號、(写真既出)、筆名 孝作 ・第2巻第4號、筆名 折柴 ・第2巻第6號、筆名 折柴 ・第17號、(写真既出)、筆名 孝作
1.8 大正 6 年			
1 5 8 -	「郊外より」『海紅』 紀行文「野田流山行」『海紅』 小説「小さな女の子が淋巴腺炎に罹る話」『海紅』 - 『龍眠』 [龍眠会(六朝書道研究会)機関紙]	 	・第2巻第11號、筆名 折柴 ・第3巻第3號、筆名 折柴 ・第3巻第6號、筆名 孝作 ※編集への参加
1.9 大正 7 年			
2 5	俳句7句「秋の単衣」他『海紅句集』 小品「空いた電車」「節分」『海紅』	 	・中塚一碧樓撰、筆名 折柴 ・第4巻第3號、筆名 折柴 ・収『稚心』『琴の物語』『巖に咲く花』
1.10 大正 8 年			
1 7 8 9 11 11	小説「弟」『海紅』 俳句14句「鬱金香畑」『文章俱樂部』 「新傾向の句の話」(P24~26) 『文章俱樂部』第4年第8號[新潮社] 文芸時評「人間を土臺として」(全5回)『時事新報』 「顔と手の距離-菊池寛氏に対する公開状」『新潮』 「俳壇の現状」『文章世界』	 19本瀧収153 	・第4巻第11號、筆名 折柴、収『妹の問題』 ・第4年第7號[新潮社]、筆名 折柴  ・筆名 折柴 全87頁 ・9/17~21、筆名 豊後農頭三郎 ・第31巻第5號、筆名 無名氏 ・第14巻第11號[博文館]、筆名 瀧井折柴

月	「作品名」『書名/掲載誌』[出版社]等	資料番号	資料写真・特記事項
1. 11大正 9 年			
2	小説「旅」『新潮』		・第32巻第2號、筆名 瀧井折柴、収『良人の貞操』
5	俳句6句「朝霧」他『第貳海紅句集』		・中塚一碧樓選[海紅社]、筆名 折柴
7	隨筆「回想の高山」『新家庭』臨時増刊『山水巡禮』		・[玄文社]、筆名 瀧井折柴、収『瀧井孝作全集』
8	小説「祖父」『新潮』		・第33巻第2號、収『妹の問題』
10	(再)小説「弟」『サンエス』		・第2巻第10號[細沼(株)]、初T8.1『海紅』、筆名 瀧井折柴
1. 12大正 10 年			
7	小説「父」『人間』(処女作)		・第3巻第7號、収『妹の問題』『良人の貞操』
8	「竹内信一」(『無限抱擁』2)『新小説』		・第26年第8號、収『妹の問題』
8	紀行「安房山越へ」(上・下)『讀賣新聞』		・8/12.13朝刊文藝欄、収『折柴隨筆』『かのこ百合』
9	小説「始ての世帯と病氣」『人間』		・第3巻第9號、収『良人の貞操』
10	俳句1句「初夏の妻」『海紅第三句集』		・中塚一碧樓撰[海紅社]、筆名 折柴
11	小説「養子」『人間』		・第3巻第11號、収『良人の貞操』
12	「良人の貞操」(『無限抱擁』3の1部)『新潮』		・第35巻第6號、収『妹の問題』『良人の貞操』
12	小説「中務大輔の娘」『表現』		・第1巻第2號[二松堂書店]、収『良人の貞操』『稚心』
1. 13大正 11 年			
3	小説「一枚の版畫」(原稿、複写) 雑誌『太陽』[博文館]	18原瀧収169 18原瀧収170	・第28年第3號 (本・写真無し) [18原瀧収169]200字詰原稿用紙60枚+差しこみ1枚+表裏表紙2枚) [18原瀧収170]10枚「一枚の版画」、大正十一年三月號太陽所載(35枚)(複写)
6	小説「小石川の親類」『新潮』		・第36巻第6號、収『妹の問題』
6	小説「妹の問題」『改造』		・第4巻第6號、収『妹の問題』
10	小説「隣家」『文章俱樂部』		・第7年第10號
10	短編小説集『妹の問題』刊行 [玄洞社]	18本瀧収409 19本瀧展001	・第1著作 H19展示中
◆「弟」「祖父」「父」「竹内信一」「良人の貞操」「小石川の親類」「妹の問題」			
1. 14大正 12 年			
2	「C子の自由」『新潮』		・第38巻第2號、収『良人の貞操』、収『稚心』-改「チヨ子の自由」
5	小説「別荘番」『文藝春秋』		・第1巻第5號、収『稚心』
6	小説「無限抱擁」(『無限抱擁』3)、隨筆「京の雨」(「雨七題」のうち)『改造』		・第5巻第6號、収『風物誌』(京の雨)
7	小説「孤(みなしご)」『青年』農民藝術號		・第8巻第7號、[(財)日本青年館]
7	短編小説集『良人の貞操』刊行 (新進作家叢書33)[新潮社]	19本瀧展002	全162頁 菊半裁判 H19展示中
◆「C子の自由」「中務大輔の娘」「良人の貞操」「始ての世帯と病氣」「父」「養子」「旅」			
7	隨筆「芭蕉の墓(上・下)」『東京朝日新聞』		・7/27.28朝刊文藝欄 ・収『風流人』『折柴隨筆』『雪間の葉』『かのこ百合』



月	「作品名」『書名/掲載誌』[出版社]等	資料番号	資料写真・特記事項
8	「沼邊通信」(『無限抱擁』4)『新潮』	14原121図一瀧	 ・第39巻第2號 (掲載原稿)
9	小説「長火鉢」『太陽』		・第29巻第11號、収『積雪』
9	随筆「昔の京の月」『女性改造』		・第2巻第9號
10	感想「震災の影響」『青年』大震災號		・第8巻第10號
1. 15大正 13 年			
1	随筆「新京極にて-ある日の志賀直哉氏-」『新家庭』		・第9巻第1號[玄文社] ・収『折柴随筆』『志賀直哉對談日誌』
1	小説「假萬」『週刊朝日』		・第5巻第1號
2	小説「猱」『改造』		・第6巻第2號、収『折柴随筆』『雪間の菜』
-	解説「古俳句新釋」(1)～(20)		『青年』にてT13.2～T14.10まで20回連載
3	小説「澄む」『青年』		・第9巻第2號、収『稚心』『琴の物語』
3	劇評「京都南座二月狂言」(P47～50) 『新演藝』第9巻第3號[玄文社]	19本瀧収200	 全118頁 収『折柴随筆』『かのご百合』『巖に咲く花』
4	小説「弾力のある氣持」『改造』		・第6巻第4號、収『積雪』『積雪』『山茶花』
5	小説「妻の親」『改造』		・第6巻第5號
6	随筆「處女作「父」について」『文章俱樂部』		・第9巻第6號、収『折柴随筆』
6	小説「異臭」『文藝春秋』		・第2巻第5號、収『折柴随筆』『雪間の菜』
8	小説「幻想曲」『青年』		・第9巻第8號
8	随筆「飛驒の雪」『女性』特輯「雪五篇」		・第6巻第2號、収『折柴随筆』『雪間の菜』
9	小説「信一の戀」(『無限抱擁』1)『改造』		・第6巻第9號
9	小説「亀田の娘」 [大阪毎日新聞夕刊](9.11～10.7まで23回連載) (原稿及び新聞切抜の訂正)。原稿は初回分、切抜は 掲載紙を1頁ずつ貼りまとめたもの、35頁。 収『結婚まで』	20原瀧収069 (原稿) 20切瀧収071 (切抜)	 
12	小説「露滴庵近事」『新小説』		・第29年第2號
1. 16大正 14 年			
1	小説「佛法僧」『文芸春秋』		・第3巻第1號、収『稚心』『琴の物語』
4	小説「飛驒高山物-ある轉機・桃源の湯-」『新潮』		・第42巻第4號
4	「芭蕉の句より」『女性』特輯「私の好きな句ひ」		・第7巻第4號、収『海ほほづき』-改「句ひを捉へた句」
7	「さけよひ-飛驒高山の尋五・女生徒のかいたもの-」『週刊朝日』		・第8巻第3號
9	小説「ゲテモノ」『改造』		・第7巻第9號、収『慾呆け』『父』『雪間の菜』『故郷』
9	小説「松倉」『文芸春秋』		・第3巻第9號、収『稚心』『琴の物語』

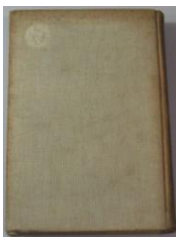
月	「作品名」『書名/掲載誌』『出版社]等	資料番号	資料写真・特記事項
1. 17 大正 15 年			
1	小説「養子」『改造』		・第8巻第1号、収『慾呆け』『故郷』『結婚まで』 ※T11.10『人間』の「養子」とは別作品。
3	随筆「董源の妻」『改造』		・第8巻第3号
4	小説「俳句會」『改造』		・第8巻第4号
4	小説「ジャコブ」『女性』		・第9巻第4号、収『積雪』『結婚まで』
4	小説「ある女の人の死」『不同調』		・第2巻第4号、収『稚心』
6	俳句3句「苜蓿-奈良にて」『驢馬』		・第3号
7	随筆「観心寺の秘仏」『文藝春秋』		・第4巻第7号、収『風流人』『折柴随筆』『雪間の菜』『かのこ百合』
7	小説「大阪商人」『中央公論』		・第41年第7号、収『慾呆け』『故郷』『結婚まで』
7	「よばよばいのち(再び)-観心寺に答う-」『讀賣新聞』		7/9朝刊宗教欄、※T15.7「観心寺の秘仏」に対する寺側の抗議に答えたもの
7	(再)「養子」『日本小説集』2		・[新潮社]
7	随筆「庭前二題」『大阪毎日新聞』		・朝刊文藝欄、収『折柴随筆』
9	小説「お葉小母」『文藝春秋』		・第4巻第9号、収『慾呆け』
9	俳句3句「京都にて」『驢馬』		・第5号
12	随筆「井戸」『文藝春秋』		・第4巻第12号 ・収『風流人』『折柴随筆』『雪間の菜』『かのこ百合』
12	随筆「味ひ方」『大阪毎日新聞』		・12/14朝刊文藝欄、収『折柴随筆』
1. 18 昭和 2 年			
1	小説「結婚まで」『中央公論』		・第42年第1号、収『慾呆け』『結婚まで』『山茶花』
1	随筆「座右寶」について(上・下) [東京日日新聞]		・1/27,28朝刊文藝欄、収『風物誌』
3	随筆「女(古いノートより)」『不同調』		・第4巻第3号
3	小品三題「夢」(「惣川」「庭鳥」「ぬれた草」)『手帖』		・創刊號[文藝春秋]
4	俳句8句「菜畑」『改造』		・第9巻第4号
4	小説「見習記者」『文藝春秋』		・第5巻第4号、収『積雪』『風流人』
4	「謡のけいこ」『大調和』		・創刊號[春秋社] ※武者小路実篤編輯の文芸誌 ・収『折柴随筆』『志賀直哉対談日誌』『巖に咲く花』
5	「よんだものより」『手帖』		・第1巻第3号 ・収『風物誌』『かのこ百合』-改「フリッツの小説」
5	小説「博打」『大調和』		・第1巻第2号、収『慾呆け』『結婚まで』『風流人』
5	(再)「お葉小母」(P275～285) 『日本小説集』3[新潮社]	19本瀧収225	全452頁、初T15.9『文藝春秋』 
6	小説「田舎の父」『女性』		・第11巻第6号、収『稚心』
6	小説「曉窓橋」『週刊朝日』		・第11巻第27号
7	小説「紋付」『中央公論』		・第42年第7号、収『慾呆け』
8	随筆「世間」『手帖』		・第1巻第6号、収『風物誌』『かのこ百合』
8	小説「近火・ある會場にて・校正室にて・若い保線工夫の死」		・『大調和』第1巻第5号
8	随筆「五條の鮎狩」『三越』		・第3年第8号※[大阪三越]の季刊誌、収『風物誌』

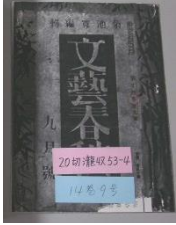
月	「作品名」『書名/掲載誌』[出版社]等	資料番号	資料写真・特記事項
9	「田端-芥川龍之介追悼-」(P44~45) 『文藝春秋』第5巻第9号 「芥川龍之介追悼号」	20切瀧収053-1	(複写) 
9	『無限抱擁』刊行 [改造社] ◆「信一の恋」「竹内信一」「無限抱擁」「沼辺通信」	19本瀧展003	 全 350 頁、四六判、箱付き(収蔵庫) H19展示中
11	「無限抱擁について」『手帖』		・第9号 ※終刊
1. 19 昭和 3 年			
3	小説「偶感」『創作月刊』		・第1巻第2号[文藝春秋社]、収『雪間の菜』
3	小説「トシコ」『百華新聞』		・第68-72号(5回)※大阪高島屋発行の旬刊誌、収『権心』
4	小説「父来たる」『改造』		・第10巻第4号、収『慾呆け』
5	(再)「博打」(P223~230) 『日本小説集』4[新潮社]、初S2.5『大調和』	19本瀧収226	全454頁 
10	「漱石の俳句」『大調和』		・第2巻第10号、漱石特輯号。※終刊、収『海ほほづき』
1. 20 昭和 4 年			
1	小説「暑い日」『文藝春秋』		・第7巻第1号、収『慾呆け』『故郷』『結婚まで』『山茶花』
1	小説「風流人」『週刊朝日』		・第15巻第1号、収『風流人』『積雪』
3	小説「河骨」『サンデー毎日』		・第8年第13号、春季特別号、収『風流人』『積雪』
4	小説「梅村騒動」『文藝春秋』		・第7巻第4号、収『折柴随筆』『雪間の菜』
9	(再)「父来る」『十年』(佐藤春夫編)[改造社]		・初S3.4『改造』
9	現代俳句集・瀧井孝作篇「新傾向俳句など30句」		・『現代日本文学全集』38[改造社]
9	小説「たぬき」『週刊朝日』		・第16巻第12号、収『風流人』『積雪』『琴の物語』
10	随筆「良寛餅」『皿』		・第1巻第3号※赤坂のレストラン・ボントン発行の随筆誌、収『風流人』『折柴随筆』
10	「飛騨川を遡る」 昭和4年10月25日特輯○第1号 ※掲載紙不明	18切瀧収078	(複写) ※書誌に記載なし 
12	「沼辺通信」「露滴庵近事」「亀田の娘」「ゲテモノ」「養子」「大阪商人」(P1~196) 『新進傑作小説全集』第12巻 (瀧井孝作・牧野信一集)[平凡社]	19本瀧収071-1 19本瀧収071-2	全420頁 

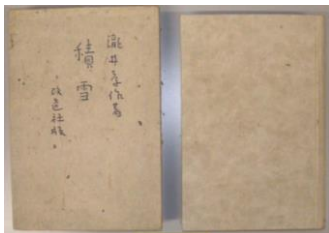
月	「作品名」『書名/掲載誌』[出版社]等	資料番号	資料写真・特記事項
12	小品「冬支度」『特輯 飛騨』第2號		・[飛騨毎日新聞]、収『文藝春秋』S5.1「故郷の話」
1. 21 昭和 5 年			
1	「故郷の話」(「飛騨の国分寺」「孝之の事」「冬支度」)	『文藝春秋』	・第8巻第1號
1	短編集『風流人』刊行 (やぼんな叢書之内)[雅博那書房]	18本瀧収049 19本瀧展004	 全167頁、菊判、非売品、会員本限定300部 H19展示中
◆(小説)「風流人」「河骨」「たぬき」「飛騨の国分寺」／(小品)「芭蕉の墓」「惟然の句」「董源の画」「良寛餅」「井戸」「観心寺の秘佛」			
2	随筆「不易流行」『新潮』		・第27年第2號、収『折柴随筆』
3	小説「父の活計」『改造』		・第12巻第3號、収『慾呆け』
6	随筆「あやつり人形」『三田文學』		・第5巻第6號
11	小説「八王子にて」『文藝春秋』		・第8巻第11號、収『結婚まで』
11	随筆「飛騨の風景」『週刊朝日』		・第18巻第22號、収『折柴随筆』『雪間の菜』
12	随筆「室生寺の秋」『文藝春秋』		・第8巻第12號、収『風物誌』『かのご百合』
1. 22 昭和 6 年			
1	「折柴句集」自序『作品』		・第2巻第1號[作品社]
2	随筆「素人の一人」『麻雀春秋』		・第31號、収『風物誌』
2	「飛騨高山の郷土色」『日本地理大系』		・第6B巻(中部篇下巻)[改造社]、収『風物誌』
3	小説「酔蜂君」『週刊朝日』		・第19巻第11號、収『積雪』『風流人』
4	小説「舍人達の失敗」『文藝春秋』		・第9巻第4號、収『稚心』
6	随筆「けやきの若葉」「文学青年と親」「自分の仕事」『東京朝日新聞』		・6/3朝刊文藝欄、収『折柴随筆』-改「けやきの若葉」
6	随筆「栗の花」『サンデー毎日』		・第10年第27號、夏季特別號 ・収『折柴随筆』『雪間の菜』
7	随筆「交友目録」『作品』		・第2巻第7號
8	句集『折柴句集』刊行 [やぼんな書房]	18本瀧収042 19本瀧展005	 自序8頁、本文118頁、菊判変型(147×198) 初版300部 H19展示中
◆大正 3 年～昭和 4 年の句作 577 句			
9	随筆「奈良公園にて(上・下)」『大阪毎日新聞』		・9/1,2朝刊文藝欄、収『積雪』
10	小説「邦男と二宮と」『文藝春秋』		・第9巻第10號、収『慾呆け』『故郷』
10	随筆「秋の山」『三越』		・第7年10號[大阪三越]、収『折柴随筆』
11	小説「伊勢詣」『古東多万』		・第1年第2號[やぼんな書房]、収『折柴随筆』
12	随筆「近所の丘」『大阪毎日新聞』		・12/17朝刊文藝欄、収『折柴随筆』
12	小説「隣一二軒」(P3～12) 『文科』第3輯[春陽堂]	19本瀧収156	 全149頁 ※牧野信一主宰の文芸雑誌 収『慾呆け』『結婚まで』

月	「作品名」『書名/掲載誌』[出版社]等	資料番号	資料写真・特記事項
1. 23 昭和 7 年			
1	「ゲテモノ」「養子」「結婚まで」「父来る」(P113～172) 『明治大正昭和文学全集』第55巻[春陽堂] (現代作家篇)「瀧井孝作篇」	19本瀧収072	 全564頁
3	随筆「奈良の春」『婦人公論』		・第17年第3号、収『折柴随筆』『雪間の菜』
4	小説「木洞物語」『婦人サロン』		・第4巻第4号、収「稚心」-改「琴の物語」
4	「俳句の話」(其角、嵐雪、去来、凡兆)『都新聞』		・4/20-23朝刊文藝欄
5	随筆「國なまり」「水車」「墓参」『東京朝日新聞』		・5/20,22,23朝刊文藝欄、収『折柴随筆』
7	初夏随筆「魚釣」『新潮』		・第29年第7号、収『風物誌』『郷愁』『釣りの楽しみ』
8	「田園と俳句」(P417～426) 『俳句講座』第7巻(特殊研究篇)[改造社] 「愛吟句一句評釈」(惟然の句を瀧井が評釈)(P5) 『俳句研究』第3号(S7.8.12)	19本瀧収173	 全451頁 収『風物誌』
9	随筆「鮎釣日記抄」『改造』		・第14巻第9号、収『折柴随筆』
9	随筆「鮎釣入門記」『文藝春秋』		・第10巻第9号、収『折柴随筆』『釣りの楽しみ』
9	小説「阿呆由」『家庭』		・第2巻第9号 ※大日本総合婦人会発行の家庭雑誌、 収『折柴随筆』『雪間の菜』
10	(再)「邦男と二宮と」『文藝年鑑』		・1932年版[改造社刊]、初S6.10『文藝春秋』
11	随筆「生れ在所」『文藝春秋』		・第10巻第11号、収『積雪』
12	随筆「炊事」『モダン日本』		・第3巻第12号、収『折柴随筆』
12	俳句論「一碧樓と俳句」『セルパン』		・第22号、収『折柴随筆』
1. 24 昭和 8 年			
1	小説「初奉公」『飛騨毎日新聞』		・1/1、収「稚心」『琴の物語』
1	「狐つきの話」『サンデー毎日』		・第12年第4号、収『折柴随筆』
2	随筆「人の聲(上・下)」『北海タイムス』		・2/26,28、収『折柴随筆』
3	随筆「莖立菜・干鰯」『帝國大學新聞』		・3/20、収『折柴随筆』『雪間の菜』
6	「櫓・ハル木」『新潮』		・第30年第6号、わが地方の特色、収『折柴随筆』
6	随筆「釣り歩るき」『週刊朝日』		・第23巻第26号、初夏特別号、収『慾呆け』
7	小説「鮎釣-初漁の記-」『新作三十三人集』		※『経済往来』夏季増刊號を単行本として刊行
7	(再)「初奉公」『四季』季刊第2冊1933年夏號		※飛騨毎日新聞掲載と同文
9	「芥川龍之介七回忌集」(俳句2句)(P141) 小説「慾呆け」 『文藝春秋』第11巻第9号[文藝春秋]	20切瀧収053-2	 (複写)

月	「作品名」『書名/掲載誌』[出版社]等	資料番号	資料写真・特記事項
10	(参考)『文藝春秋』第1巻第1号(創刊号)[文化公論社] ○「文藝春秋の作品」(「慾呆け」「鮎釣」の評。小林秀雄著)	20本瀧収001	全175頁
			
11	「晩秋小描」(初不明)		・収『折柴随筆』-改「秋色」
12	小説「哀しき老父」『改造』		・第15巻第12号、収『慾呆け』『父』
1.25 昭和 9 年			
1	小説「山中釣遊」『新潮』		・第31年第1号、収『稚心』『釣なにか』『釣りの楽しみ』
2	「作家の俳句」『文藝』		・第2巻第2号[改造社]、収『折柴随筆』
3	俳句10句「手帖より」(P157) 『俳句研究』第1巻第1号(3月創刊号)[改造社]	19本瀧収155	全242頁
			
4	小説集『慾呆け』刊行 [文体社]	18本瀧収043 19本瀧展006	全345頁、四六判、 限定750部 H19展示中
	◆「ある轉機」「桃源の湯」「ゲテモノ」「養子」「大阪商人」「結婚まで」「博打」「紋付」「お葉小母」「父来たる」「暑い日」「父の活計」「邦男と二宮と」「隣一二軒」「釣り歩き」「鮎釣」「慾呆け」「哀しき老父」／後記		
5	小説「Y君とぼくと」『文藝春秋』		・第12巻第5号、収『積雪』
6	「鮎」『若草』		・第10巻第6号、収『釣なにか』-改「美しい鮎」
10	随筆「秋雨岬々」『改造』		・第16巻第11号、収『風物誌』『雪間の菜』
1.26 昭和 10 年			
1	小説「山女釣り」『文藝』		・第3巻第1号、収『折柴随筆』
2	随筆「春寒し(上・下)」(「隣人」「隣のラジオ」)『大阪毎日新聞』		・2/20,21朝刊文藝欄、収『風物誌』『結婚まで』『雪間の菜』
3	随筆「梅見」『中央公論』		・第50年第3号、収『折柴随筆』
4	「小家と小庭」『週刊朝日』		・第27巻第18号、収『風物誌』
5	小説「彼の周囲」『文藝春秋』		・第13巻第5号、収『積雪』『故郷』
7	小説「金鑛の夢」『改造』		・第17巻第7号、収『積雪』『父』『故郷』
7	涼風随筆「近所の友」『モダン日本』		・第6巻第7号、収『折柴随筆』
7	「けやきの若葉」「伊勢詣」「近所の丘」「炊事」「人の聲」「梅見」		・『現代随筆全集』3(瀧井孝作篇)[金星堂]
9	「第1回芥川賞選評」 『文藝春秋』第13巻第9号	20切瀧収053-3	(複写)
			

月	「作品名」『書名/掲載誌』[出版社]等	資料番号	資料写真・特記事項
9	『無限抱擁』刊行 [創元社] ※S2.9改造社版(19本瀧展003)の重刊。	18本瀧収032 19本瀧収007-1 19本瀧展007-2	 全359頁、四六判 H19展示中
9	随筆・感想・批評集『折柴随筆』刊行 [野田書房]	18本瀧収041 19本瀧展008	 全351頁、四六判 H19展示中
◆自序／(京都奈良にて)「芭蕉の墓」「新京極にて」「京都南座二月狂言」「伊勢詣」「栗の花」「異臭」「観心寺の秘佛」「奈良の春」「庭前二題」「井戸」「謡のけいこ」「奈良より」「油画の名画」「味ひ方」「董源の画」「良寛餅」「不易流行」／(飛騨雑記)「安房山越へ」「飛騨の風景」「貉」「狐つきの話」「阿呆由」「飛騨の雪」「櫛・ハル木」「莖立菜・干ぎす」「梅村騒動」／(八王子にて)歌舞伎・浅草・隅田川「交友日録」「けやきの若葉」「秋の山」「近所の丘」「秋色」「國なまり」「氷車」「墓参」「炊事」「人の声」「梅見」「近所の友」／(感想批評)處女作「父」について「小林秀雄氏への公開状」「惟然の句」「其角・嵐雪・去来・凡兆」「一碧楼と俳句」「作家の俳句」「虚子さんの文章」「長塚節の小説と歌」「小感」／(釣魚雑筆)「鮎釣入門記」「鮎釣日記抄」「鮎」「山女釣り」			
9	随筆「秋深し(蟋蟀、風景事物など)」『都新聞』		・9/27,28朝刊文藝欄、収『風物誌』『雪間の菜』
11	小説「責任自殺」『中央公論』		・第50年第11號、収『積雪』『故郷』
1.27 昭和 11 年			
1	小説「住宅」『文藝春秋』		・第14巻第1號、収『積雪』『結婚まで』
1	俳句5句「旅中吟」『中央公論』		・第51年第1號
1	「外村繁君とぼく」(P64～65) 『文藝雑誌』第1巻第1號(創刊號) [砂小屋書房]	19本瀧収158	 全136頁 収『風物誌』
2	「志賀直哉對談日誌」『文藝春秋』		・第14巻第2號 ※S10.11.24～27の記録、収『志賀直哉對談日誌』
2	「奈良の春」(P250～259) 「鮎釣入門記」(P260～268) 『昭和随筆集』1[日本學藝社]	19本瀧収223	 全334頁
4	「第2回芥川賞選評」『文藝春秋』		・第14巻第4號
5	「文學的自叙傳」『新潮』		・第33年第5號 ・収『風物誌』『志賀直哉對談日誌』『かのご百合』
7	小説「山女魚」『中央公論』		・第51年第7號 ・収『積雪』『風流人』『山茶花』『釣りの楽しみ』
7	(参考)『批評文学』[三笠書房](古屋綱武著) ○「瀧井孝作氏の「慾呆け」」(P201～203)	20本瀧収014	 全263頁

月	「作品名」『書名/掲載誌』[出版社]等	資料番号	資料写真・特記事項
8	(参考)『小説の研究』(新思想芸術叢書)[第一書房](川 20本瀧収034 端康成著) ○瀧井についての記述あり		全311頁 
9	「第3回芥川賞選評」 『文藝春秋』第14巻第9号	20切瀧収053-4	(複写) 
9	『折柴随筆』刊行(普及版) [野田書房]	19本瀧収009-1 19本瀧収009-2	四六判 ※S11版の軽装版 
10	随筆「ゲテモノ雑記」(P21～23) 『瓶史』第7巻・秋の号[去風堂]	19本瀧収131	全97頁、収『風物誌』『雪間の菜』 『かのこ百合』 
1.28 昭和 12 年			
3	「第4回芥川賞選評」『文藝春秋』		・第15巻第3号
3	追悼記「悼碧梧桐先生」『中央公論』		・第52年第3号
4	俳句5句「春雑詠」『文藝懇話会』		・第2巻第4号
5	小説「積雪」『改造』		・第19巻第5号、収『積雪』『父』『結婚まで』『山茶花』
6	俳句5句「鯉幟」『改造』		・第19巻第6号
6	随筆「風物誌」(一)～(三)『都新聞』		・6/5～7朝刊文藝欄、収『風物誌』
9	「第5回芥川賞選評」『文藝春秋』		・第15巻第9号
1.29 昭和 13 年			
1	小説「故郷」『中央公論』		・第53年第1号、収『稚心』『故郷』『郷愁』
3	「第6回芥川賞選評」(P357～358) 『文藝春秋』第16巻第4号	20切瀧収053-5	(複写) 
4	「室生寺の秋」 『好日紀行』(P224～227)	19本瀧収233	[矢の倉書店] 全342頁 ※書誌に記載なし S5.12『文藝春秋』と同じ? 
5	随筆「幼な顔」『新潮』		・第35年第5号、収『風物誌』

月	「作品名」『書名/掲載誌』[出版社]等	資料番号	資料写真・特記事項
6	小説「父祖の形見」『文藝春秋』		・第16巻第6號、収『父』『郷愁』『山茶花』
6	鮎釣小品「興瀬の山王」「初漁風景」「千木良の橋掛」『都新聞』		・6/28-30朝刊文藝欄。収『釣なかま』-改「鮎の沈み釣」
7	随筆「奈良の夏」『婦人公論』		・第23年第7號、収『浮寝鳥』『雪間の菜』
8	随筆・批評集『風物誌』刊行 [砂子屋書房]	18本瀧収034 19本瀧収010	 全263頁、四六判
◆「志賀直哉対談日誌」「座右寶について」「我孫子の思出」「文学的自叙伝」「碧梧桐先生」「昭和十年の俳壇」「田園と俳句」「飛騨高山の郷土色」「ゲテモノ雑誌」「秋雨艸々」「小家と小庭」「春寒し」「秋深し」「風物誌」「京の雨」「五条の鮎狩」「室生寺の秋」「素人の一人」「魚釣」「夢」「世間」「フィリップスの小説」「尤三姐」「幼な顔」「外村繁君とぼく」「川端康成選集推薦」「文芸時評」「芥川賞経緯」/後記			
9	「第七回芥川賞選評」(P343) 『文藝春秋』第16巻第15號	20切瀧収053-6	 全569頁
11	武漢作戦従軍記「上海より廬州まで」『文藝春秋』		・第16巻第11號
12	小説集『積雪』刊行 [改造社]	18本瀧収033 19本瀧収011	 全323頁、四六判
◆「積雪」「金鉢の夢」「住宅」「山女魚」「彼の周囲」「風流人」「河骨」「酔蜂君」「Y 君とぼくと」「たぬき」「奈良公園にて」「ジヤコブン」「生れ在所」「長火鉢」「弾力のある氣持」「見習記者」「責任自殺」/後記			
1. 30 昭和 14 年			
1	「土居神田決戦将棋観戦記」[東京日日新聞]		・1/1～20朝刊・夕刊(16回連載)
3	「第8回芥川賞選評」『文藝春秋』		・第17巻第3號
4	俳句5句「古代の瓶」『文藝春秋』		・第17巻第4號、「文壇句集」
6	「惜春抄」(故中戸川富枝句集『春日』序)『俳句研究』		・第6巻第6號、収『浮寝鳥』
7	「鮎釣風景」『中央公論』		・第54年第7號、収『浮寝鳥』『釣なかま』『釣りの楽しみ』
7	随筆「棋士の俳句」『新風土』		・第2巻第6號[小山書店]
8	(再)「安房峠」『峠』(深田久弥編)		・[青木書店刊] ※原題「安房山越え」
9	「第9回芥川賞選評」『文藝春秋』		・第17巻第9號
9	短文「志賀さんの寫真」『新風土』		・第2巻第8號
10	短文「武者小路さんの寫真」『新風土』		・第2巻第9號
11	俳句12句「雁来紅」『改造』		・第21巻第12號

月	「作品名」『書名/掲載誌』[出版社]等	資料番号	資料写真・特記事項
12	「序(惜春抄)」[後記] 『春日』(瀧井孝作編纂) [砂小屋書房]中戸川富枝句集	19本瀧収107	 序文17頁、本文70頁、後記3頁 和装限定版 200部
1.31 昭和 15 年			
3	「第10回芥川賞選評」『文藝春秋』		・第18巻第3號
4	自由律俳句12句「瀧井孝作篇」『俳句三代集』17列巻		・[改造社]
5	「木村・土居名人戦将棋観戦記」[東京日日新聞]		・5/22～6/4夕刊(12回)
6	短編小説集『結婚まで』(市井生活譜)刊行 [砂子屋書房]	18本瀧収037 19本瀧収012	 全239頁、後記1項、四六判
	◆「結婚まで」「博打」「八王子にて」「隣一二軒」「慾呆け」「春寒し」「住宅」/後記		
7	俳句7句「蛭籠」『文藝春秋』		・第18巻第7號
7	(参考)評論集『文学求真』(寺岡峰夫著)[砂小屋書房] ○「瀧井孝作論」(P25～33)	19本瀧収254	 全207頁
9	「第11回芥川賞選評」『文藝春秋』		・第18巻第9號
1.32 昭和 16 年			
1	俳句30句「斑雪」『俳句研究』		・第8巻第2號
2	『無限抱擁』刊行 (岩波文庫2642-2643)[岩波書店]	19本瀧収013-1	 全219頁、文庫判
3	八王子地方報告書「文化聯盟の結成」、 「第12回芥川賞選評」(P340～341) 『文藝春秋』第19巻第3號	20切瀧収053-7	 (複写)
3	「地方の文化運動」[東京日日新聞]		・3/22朝刊
4	『折柴隨筆』刊行 (現代叢書-3-)[三笠書房]	19本瀧収014	 野田書房版の重刊。奥書を付し、語句訂正 全309頁、四六判

月	「作品名」『書名/掲載誌』[出版社]等	資料番号	資料写真・特記事項
5	(参考)『事変下の文学』(板垣直子著)[第一書房] ○「現代に於ける私小説」(P269～290)	20本瀧収028	 全392頁
5	短編集『父』刊行 [高山書院] ◆「父」「ゲテモノ」「父来る」「怒呆け」「哀しき老父」「金鉱の夢」「積雪」 「父祖の形見」／おくがき	18本瀧収045 19本瀧収015	 全 304P(おくがき 2P)、四六判 装幀 武者小路実 篤
6	(参考)『書物展望』第11巻第6号 第120号 ○瀧井による扉字と、「書斎めくり」で瀧井の写真掲載	19本瀧収258	 全86頁
9	「河童忌(芥川龍之介十五回忌)」(俳句1句)(P257) 第13回芥川賞選評「芥川龍之介賞・直木三十五賞委員 會記」(P229～240) 『文藝春秋』第19巻第9号	20切瀧収053-8	 (複写)
10	(参考)『文章往来』(宇野浩二著)[中央公論社] ○「瀧井孝作」(P147～149)	20本瀧収016	 全399頁 20本瀧収015の初誌。
12	随筆「翺雲」『航空記事』 俳句5句「故郷の雪」(P19) 『月明』第4巻第2号(春雪號)	19本瀧収136	・第232號[陸軍航空本部内星空会] ・収『浮寝鳥』『雪間の菜』  全32頁 ※書誌に記載なし

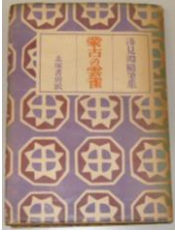
1. 33 昭和 17 年

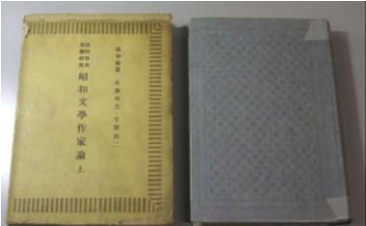
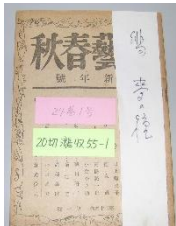
- 3 「第14回芥川賞選評」(P155)
『文藝春秋』第20巻第3号

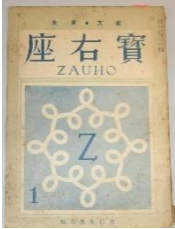
20切瀧収053-9



(複写)

月	「作品名」『書名/掲載誌』[出版社]等	資料番号	資料写真・特記事項
4	短編小説集『稚心』刊行 [小山書店] ◆「中務大輔の娘」「舎人達の失敗」「琴の物語」「節分」「ある女の人の死」「子ヨ子の自由」「別荘番」「仮寓」「故郷の話」「田舎の父」「山中釣遊」「澄む」「松倉」「初奉公」「佛法僧」「狐」「トシコ」／後記	18本瀧収025 19本瀧収016-1	 全343頁、四六判
7	(再)「新京極にて」(P367～371) 『文學京都』[京都市役所]	19本瀧収213	 全393頁 非売品
8	俳句5句「夏の日」『新風土』		・第48號[小山書店]
8	『八雲』第1輯によせて 『八雲』第1輯「小説・戯曲篇」 (川端康成編輯代表)[小山書店]	19本瀧収230-1	 全355頁
9	「第15回芥川賞選評」『文藝春秋』		・第20巻 第9號
1. 34 昭和 18 年			
1	俳句7句「浮寝鳥」『文藝春秋』		・第21巻 第2號
3	「第16回芥川賞選評」『文藝春秋』		・第21巻 第3號
4	『稚心』(再版) [小山書店]	19本瀧収016-2	(写真省略) 2000部
5	句集・隨筆集『浮寝鳥』刊行 [石原求龍堂] ◆「句集(昭和6～17年の句作200句)」／(隨筆集)「俳句私見」「惜春抄」「翳雲」「廬州の雨」「鮎釣風景」「鮎釣小品」「奈良の夏」／奥書	18本瀧収040 19本瀧収017-1	 全165頁、四六判。3000部
5	(参考)隨筆集『蒙古の雲雀』[赤塚書房](浅見淵著) ○(再)「瀧井孝作氏について」(P283～290)	19本瀧収256	 全415頁
7	「山本元帥を偲ぶ・俳句7句「鮎」」『文藝』		・題11巻 第7號
8	(参考)『私小説作家論』(山本健吉著)[実業之日本社] ○(再)「瀧井孝作」(P187～222)	20本瀧収027	 全300頁
9	隨筆「航空隨筆」『改造』		・第25巻 第9號

月	「作品名」『書名/掲載誌』[出版社]等	資料番号	資料写真・特記事項
9	俳句1句「河童忌(芥川龍之介十七回忌)」(P81) 第17回芥川賞選評「芥川賞銓衡感想」(P86) 『文藝春秋』第21巻第9號	20切瀧収053-10	 (複写)
1.35 昭和 19 年			
3	「第18回芥川賞選評」(P62) 『文藝春秋』第22巻第3號	20切瀧収053-11	 (複写)
4	(参考)『近代日本文学研究 昭和文学作家論』上巻[小 学館] ○「瀧井孝作論」(古木鐵也(鐵太郎の筆名)著)(P93 ~110)	20本瀧収023	 全330頁
4	(再)「奈良の春」「室生寺の秋」『大和文學巡禮』		[天理時報社]
7	「曲技飛行」(P319~325) 『八雲』第3輯「評論・随筆篇」 (川端康成編輯代表)[小山書店]	19本瀧収230-3	 全369頁 収『雪間の菜』 『野草の花』『か のこ百合』
9	「第19回芥川賞選評」『文藝春秋』		第22巻第9號
11	「狂言の寫実」(自筆原稿) 『能楽全書第6巻「能狂言の鑑賞」』[創元社]	18切瀧収343-2	 原稿用紙48枚 収『巖に咲く花』
1.36 昭和 20 年			
3	「第20回芥川賞選評」『文藝春秋』		・第23巻第3號
8	俳句9句「飛行機雲」『文藝』		・第2巻第6號
1.37 昭和 21 年			
1	俳句7句「麥の種」(P7) 『文藝春秋』第24巻第1號	20切瀧収055-1	

月	「作品名」『書名/掲載誌』[出版社]等	資料番号	資料写真・特記事項
1	『無限抱擁』刊行(現代文学選5)[鎌倉文庫] 「著者による解説」 ※岩波文庫版(19本瀧収013)と同文	18本瀧収030 19本瀧収018-1 19本瀧収018-2	 全276頁、B6判 H19展示中
4	随筆「今は昔」(P39～41) 『座右寶』第1巻第1号(創刊号)	座右宝刊行会	 全63頁 収『海ほほづき』
4	小説「大火の夜」(P61～67) 『人間』第1巻第4号[鎌倉文庫]	19本瀧収123	 全192頁 収『郷愁』
5	随筆「子供と共に」『新潮』		・第43巻第5号、収『野草の花』『かこの百合』
5	「戦場風景(湖江)」『世界』		・第5号(未完)、※続編はS25.4『中央公論文芸特集』
7	俳句「冬春十句」(P20～21) 『素直』第1輯[赤坂書店]	19本瀧収198	 全207頁
7	随筆・句集『雪間の菜』刊行 [鎌倉書房] ◆「奈良の春」「奈良の夏」「井戸」「偶感」「観心寺の秘佛」「栗の花」「異臭」「芭蕉の墓」「惟然の句」「其角・嵐雪・去来・凡兆」「秋雨艸々」「春寒し」「秋深し」「ゲテモノ雑記」「飛驒の風景」「飛驒の雪」「猯」「阿呆由」「荳立菜・干ぎす」「梅村騒動」「鮎釣」「麥」「翳雲」「曲技飛行」／句集／奥書	19本瀧収019-1	 全226頁(奥書1頁)、B6判
9	俳句7句「鮎」(P98) 『改造』第27巻第9号[改造社]	19本瀧収157	 全112頁
9	短編小説集『故郷』刊行 (三島文庫4)[三島書房] ◆「養子」「大阪商人」「暑い日」「ゲテモノ」「慾呆け」「鮎釣」「金鉾の夢」「積雪」「邦男と二宮と」「彼の周囲」「責任自殺」「故郷」／後記	19本瀧収020-1 19本瀧収020-2	 全240頁(後記1頁)、B6判

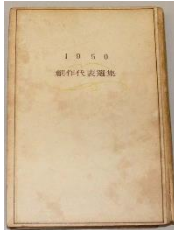
月	「作品名」『書名/掲載誌』[出版社]等	資料番号	資料写真・特記事項
10	「よいものを」(P5) 『小国民の友』第23巻 第7号(10月号)	19本瀧収133	全52頁 ※書誌に記載なし
			
11	「道流杭のカイツ釣」『つり人』		・第1巻 第10号[つり人社] ・収『野草の花』『釣なかま』『釣りの楽しみ』
1.38 昭和 22 年			
1	短編小説集『風流人』刊行 [光文社]	18本瀧収048 19本瀧収021-1 19本瀧収021-2	全142頁、 B6判
	◆「見習記者」「博打」「風流人」「河骨」「酔蜂君」「Y君と僕と」「山女魚」／おくがき		
2	俳句10句「柿落葉」『群像』		・第2巻 第2号
3	(再版)『雪間の菜』刊行 [鎌倉書房]	19本瀧収019-2	(写真省略) ※書誌に記載なし
4	随筆「朴の葉」『座右寶』		・第10・11合併号、収『郷愁』
5	小説集『夢の物語』刊行 [桜井書店] (少年のための純文学選)	18本瀧収039 19本瀧収022	全71頁、A5判
	◆「夢の物語」「節分」「佛法僧」「澄む」「初奉公」「松倉」「たぬき」		
7	随筆集『志賀直哉対談日誌』刊行 [全国書房]	19本瀧収024 19本瀧展024-2	全58頁、四六倍判変形、2500部 H19展示中
	◆「志賀直哉対談日誌」「我孫子の思出」「謡のけいこ」「新京極にて」「文学的自叙伝」／後記		
9	(再)「大火の夜」(P283～292) 『日本小説代表作全集』14[小山書店] (S21年・前半期)	19本瀧収209	全366頁
			
9	俳句5句「牡丹の肌」『素直』		・第3輯[赤坂書店]
11	俳句6句「我家」『文藝春秋』		・第25巻 第10号
11	碧梧桐句集『解説』(P305～327) 『碧梧桐句集』(喜谷六花編) [桜井書店]	19本瀧収184	全437頁
			
12	俳句11句「内房釣趣」『中部日本新聞』		・12/29朝刊文藝欄

月	「作品名」『書名/掲載誌』[出版社]等	資料番号	資料写真・特記事項
1. 39 昭和 23 年			
1	随筆「カワの責」『馬酔木』		・第27巻第1号[馬酔木発行所] ・収『野草の花』『かのご百合』
1	『無限抱擁』刊行 (新潮文庫)[新潮社] 「解説 外村繁」	19本瀧展025	全243頁、文庫判(A6) H19展示中 
3	小説「子供と魚釣」『教育と社会』		・[社会教育教育連合会]、収『郷愁』『釣りの楽しみ』
5	随筆「梅の花」『素直』		・第4輯[赤坂書店]、収『郷愁』
6	小説「子供と魚釣」(P173～188) 『幼年』[西荻書店]	19本瀧収211	全190頁 ※書誌に記載なし 
7	随筆「不漁の記」『馬酔木』		・第27巻第7号、収『釣なま』『釣りの楽しみ』
8	俳句5句「日食」『苦楽』		・第3巻第7号
8	(再)「積雪」、「作者のことば」(P207～234) 『現代日本文学選集』1 [細川書店] (参考)「解説」(西村孝次著)、「略歴」	19本瀧収073	全273頁 
10	短編小説集『結婚まで』刊行 「「結婚まで」後記」 [小山書店]	18本瀧収036 19本瀧収026	全197頁 ※砂小屋書房版(19本瀧収012)の重刊(後記を除く) 
10	(参考)『小説の文章』(宇野浩二著)[創芸社] ○(再)「瀧井孝作」(P171～174)	20本瀧収015	全297頁 
11	小説「蟹」『作品』		・季刊第2輯[創芸社]、収『郷愁』
12	随筆「本物の描寫」『風雪』		・第2巻第12号[六興出版部]
12	随筆「小猫」『風花』		・第10号[風花書房](中村汀女主宰)、収『野草の花』
12	俳句5句「初冬」『小説新潮』		・第2巻第11号
1. 40 昭和 24 年			
1	随筆「野草の花」『ニューエイジ』		・創刊号[毎日新聞社]、収『野草の花』
2	随筆「冬のつり」『東京新聞』		・2/18,19夕刊文化欄 ・収『野草の花』『釣なま』『釣りの楽しみ』
3	「碧梧桐の随筆」『作品』		・第3集、収『野草の花』
3	「碧梧桐の俳句」『文藝往来』		・第1巻第3号[鎌倉書房]、収『野草の花』

月	「作品名」『書名/掲載誌』[出版社]等	資料番号	資料写真・特記事項
4	日記「某月某日」『文藝往来』		・第1巻第4号[鎌倉書房]
4	「長日月」『現代日本小説大系』		・第27巻月報「志賀直哉集」[河出書房]
5	「『雪明り』の作者」(P37～39) 『素直』復刊第1号[留女書店]	19本瀧収199	 全232頁
5	(再)「蟹」『日本小説代表作全集19』		・昭和23年後半期[小山書房]
6	随筆「直接描寫」『喜多』		・第1輯[喜多流刊行会]
7	「私の文學修業」『文藝往来』		・第1巻第7号[鎌倉書房]、収『生のまま素のまま』
8	俳句6句「毎年」『文藝春秋』		・第27巻第8号
8	随筆「あゆ解禁素描」『生活文化』		・第10巻第8号[旺文社]、収『野草の花』
9	第21回芥川賞選評「教養と人柄と持味」『文藝春秋』		・第27巻第9号
9	『無限抱擁』刊行 (春陽堂文庫53)[春陽堂] 「解説 浅見淵」	19本瀧展027-1 19本瀧収027-2	 全226頁、文庫判(A6) H19展示中

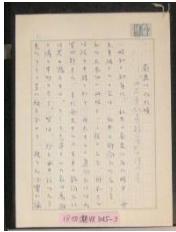
1.41 昭和 25 年

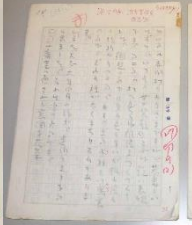
1	「伐り禿山」『改造文藝』		・第2巻第1号[改造社] ・収『郷愁』『釣なかま』『山茶花』『釣りの楽しみ』
1	(重版)『琴の物語』刊行 (少年のための純文学選)[桜井書店]	19本瀧収023	 19本瀧収022の重版。装幀のみ改めたもの。 ※書誌に記載なし
3	小説「裸婦」『新小説』		・第5巻第1号[春陽堂]、収『郷愁』
3	小説「初舞臺」(P75～79) 『心』第3巻第3号 [日本評論社]	19本瀧収125 19本瀧収159	 全96頁、収『志賀さんの生活など』『巖に咲く花』
4	第22回芥川賞選評「国際的の小説」『文藝春秋』		・第28巻第4号
4	「戦場風景」『中央公論文藝特集』		・第3号 ※S21の「戦場風景(湖江)」に続くもの、収『郷愁』『山茶花』
5	「兵隊の母達」『東京朝日新聞』		・5/14
5	小説集『郷愁』刊行 [中央公論社]	18本瀧収022 19本瀧収028	 全298頁、B6判
◆「故郷」「父祖の形見」「大火の夜」「朴の葉」「梅の花」「子供と魚釣り」「蟹」「裸婦」「伐り禿山」「戦場風景」／後記			
5	「荷風覚書」『荷風全集』15		・月報第13号[中央公論社]、収『野草の花』

月	「作品名」『書名/掲載誌』[出版社]等	資料番号	資料写真・特記事項
8	「第23回芥川賞について」『東京日日新聞』		・8/19,20朝刊文藝欄
9	「演能手記讀後」(P22～23)『喜多』 第6輯 秋期號[喜多流刊行会]	19本瀧収124	 全64頁
10	第23回芥川賞選評「型破りに」『文藝春秋』		・第28巻第10號
10	小説「身邊新緑」『群像』		・第5巻第10號、収『野趣』
10	(再)「伐り禿山」(P139～153) 『創作代表選集6』(S25前期)[講談社]	19本瀧収210	 全576頁
10	(再)「裸婦」『日本小説代表作全集22』		・(昭和25年前半期)[小山書房]
11	「無限抱擁」(P241～351) 『現代日本小説大系』第34巻(「新現實主義4」)佐藤 春夫／室生犀星／瀧井孝作[河出書房] (参考)「解説」(中村光夫著)、付録 現代日本小説大 系月報第29號(S25.11)「無限抱擁」について(浅見淵 著)(P5～4)	18本瀧収015 19本瀧収074	 全370頁
1.42 昭和 26 年			
1	小説「純潔-「藪の中」をめぐるて-」『改造』		・第32巻第1號、収『野趣』
3	「假舞臺の能」『東京新聞』		・3/24夕刊文化欄 ※原題「名流能楽公演を観る」、収 『野草の花』『巖に咲く花』
4	第24回芥川賞選評「主張無しで」『文藝春秋』		・第29巻第4號
4	隨筆「芭蕉の柳の句」『群像』		・第6巻第4號、収『海ほほづき』
4	(再)「身邊新緑」(P173～197) 「編纂會の記」(P562～564) 『創作代表選集7』(昭和25年後期)[講談社]	19本瀧収208	 全574頁
5	俳句5句「門川四季」『小説新潮』		・第5巻第6號
5	「無限抱擁」の頃『文學界』		・第5巻第5號[文藝春秋社]
5	(再)「結婚まで」『日本戀愛小説集』		・[羽田書房]
8	小説「釣り友達」『新潮』		・第47巻第9號
8	「釣隨筆」解説(P195～197) 『釣隨筆』(佐藤垢石著) (市民文庫55)[河出書房] ※原稿有り	19本瀧収182(本) 18 切 瀧 収 345- 2(原稿)	  (原稿)題名は孝 作の自筆。本 文は別人(新子 さんか?)の清 書と思われる。 全197頁
9	(再)「純潔」『創作代表選集8』		・(昭和26年前期)[講談社]
9	小説「山の姿」『中央公論文藝特集』		・第9號、収『野趣』『野趣』

月	「作品名」『書名/掲載誌』[出版社]等	資料番号	資料写真・特記事項
10	第25回芥川賞選評「架空の小説」『文藝春秋』		・第29巻第13号
10	随筆「擬餌針」『共同通信関係各紙』		・収『釣なかま』『釣りの楽しみ』
12	エッセイ「蕪村と曉臺」『群像』		・第6巻第12号、収『野草の花』
12	『無限抱擁』刊行（角川文庫287） （参考）「解説 河盛好蔵」	19本瀧展029	 全219頁、文庫判(A6) H19展示中
1.43 昭和 27 年			
3	第26回芥川賞選評「題材と文體との一致」『文藝春秋』		・第30巻第4号
3	「新薬師寺の本尊」『日本の彫刻』5		・「平安時代」[美術出版社]、収『生のまま素のまま』
4	随筆「民藝館の宵(琉球の踊)」『東京新聞』		・4/25～27夕刊文化欄 ・収『野草の花』『かのこ百合』『巖に咲く花』
5	俳句6句「悼三汀」『文藝春秋』		・第30巻第5号
5	随筆「裏庭の太木」『大阪新聞』		・5/3文藝欄
5	文章論「新人の文章」『文学界』		・第6巻第5,7,8,9,10,11,12号(7回)、収『野草の花』
7	「清涼な桃源郷」『読賣新聞』		・7/23夕刊、「ふるさと記-飛驒」カット・瀧井新子筆
8	(アンケート回答)「翻譯文學ベスト5」(P30～31) 『文藝』第9巻第8号[河出書房]	19本瀧収126	 全102頁
8	随筆「出雲の紙」『松江郵便局ニュース』		・第6号
8	小説「松島秋色」『群像』		・第7巻第8号(随筆傑作集)、収『結婚まで』『野趣』
9	第27回芥川賞選評「直井潔氏を推す」『文藝春秋』		・第30巻第13号
9	評論「河東碧梧桐と中村不折」『文学界』		・第6巻第9号
9	釣り随筆「氣多川と天竜川」『旅』		・第26巻第9号、収『野草の花』『釣なかま』『釣りの楽しみ』
10	「芥川賞の作家たち」(P22～27) 『別冊文藝春秋』第30号記念号	20切瀧収055-2	
11	「鑑賞の年季」『少年美術館』		・東洋篇3附録月報[岩波書店] ・収『野草の花』『かのこ百合』
11	(再)「結婚まで」(P188～206) 『文藝』臨時増刊号 第9巻第13号	19本瀧収215	 全228頁

月	「作品名」『書名/掲載誌』[出版社]等	資料番号	資料写真・特記事項
1. 44	昭和 28 年		
1	(再)「松島秋色」(P140～165) 『随筆傑作集』第2集 [新聞月鑑社]	19本瀧収205	全166頁
2	小説「木登り」(P81～85) 『心』第6巻第2号	20切瀧収054-1	収『生のまま素のまま』
3	第28回芥川賞選評「目をつぶつて」『文藝春秋』		・第31巻第4号
3	随筆「今昔譚二つ」『文藝』		・第10巻第3号
4	「人物素描(川端康成氏一人と作品)」『文學界』		・第7巻第4号、収『生のまま素のまま』『かのこ百合』
4	狂言「釣狐」『會館藝術』		・第11巻第4号[朝日新聞大阪厚生事業団] ・収『生のまま素のまま』『巖に咲く花』
4	随筆・評論集『野草の花』刊行 [筑摩書房]	18本瀧収046 19本瀧収030-1 19本瀧収030-2	全265頁、B6判
◆「子供と共に」「カヤの実」「小猫」「野草の花」「裏庭の木木」「道流杭のカイツ釣」「冬のつり」「あゆ解禁素描」「気多川と天竜川」「民芸館の宵」「仮舞台の能」「『演能手記』読後」「喜多六平太翁」「玉のやうな絵」「鑑賞の年季」「蕪村と暁台」「碧梧桐の俳句」「碧梧桐の随筆」「事物の描写」「『雪明り』の作者」「荷風覚書」「暖かく鋭どく」「『鬼火』評」「曲技飛行」「新人の文章」／後記			
4	(再)「松島秋色」『創作代表選集11』		・(昭和27年後期)[講談社]
6	小説「流行と信用」『群像』		・第8巻第6号、収『野趣』
7	随筆「能面挿話」『中央公論』		・夏季臨時増刊、第68年第9号 ・収『生のまま素のまま』『巖に咲く花』
8	「文章雑談」『新潮』		・第50年第8号、収『志賀さんの生活など』
9	第29回芥川賞選評「安岡氏を推す」『文藝春秋』		・第31巻第13号
9	「太宰治の作品」『文學界』		・第7巻第9号、収『生のまま素のまま』
9	「飛騨高山の今昔」『旅』		・第27巻第9号、収『生のまま素のまま』『釣りの楽しみ』
9	随筆「秘曲“サギ”」『毎日新聞』		・9/10朝刊文藝欄、収『志賀さんの生活など』
9	随筆「偶感」『朝日新聞』		・9/11朝刊文藝欄
9	随筆「私の読書遍歴」『日本読書新聞』		・9/14、収『生のまま素のまま』
9	随筆「今年の鮎」『毎日新聞』		・9/16夕刊、収『釣りなま』『釣りの楽しみ』
10	『瀧井孝作集』刊行 (市民文庫27) [河出書房]	19本瀧収031	全162頁、文庫判(A6)
◆「結婚まで」「トシコ」「住宅」「積雪」「廬州の雨」「伐り禿山」「松島秋色」／解説:浅見淵			
12	随筆「文學と将棋」『産業経済新聞』		・12/30朝刊文藝欄、収『生のまま素のまま』

月	「作品名」『書名/掲載誌』[出版社]等	資料番号	資料写真・特記事項
1. 45	昭和 29 年		
1	小説「Kの思出」『世界』		・第97号、収『野趣』
1	「大衆向の能」『観世』		・第21巻第1号[観世會]
1	随筆「元旦の俳句」『時事通信関係各紙』		・収『海ほほづき』
1	「私の生活」『産業経済新聞』		・1/16朝刊文藝欄、収『海ほほづき』
1	随筆「能のけいこを見る」『東京新聞』		・1/19～21夕刊文化欄(3回) ・収『生のまま素のまま』『巖に咲く花』
2	随筆「新語隠語に関して」『朝日新聞』		・2/13朝刊學藝欄、収『生のまま素のまま』
3	第30回芥川賞選評「三人三様」『文藝春秋』		・第32巻第4号
4	「子規句集を読む」『文學』		・第22巻第4号[岩波書店]、収『海ほほづき』
4	「翁の白式」『朝日新聞(大阪)』		・4/30夕刊文化欄
5	小説「奇禍」『群像』		・第9巻第5号、収『釣なかま』『野趣』『釣りの楽しみ』
6	随筆「海ほほづき」『俳句』		・第3巻第6号[角川書店]、収『海ほほづき』
6	「志賀さんの繪と書」『現代日本文学全集20』		・「志賀直哉集」月報第13号、収『生のまま素のまま』
6	「奈良にみた頃—『舟木重雄遺稿集』の後に—」 『舟木重雄遺稿集』(非売品)のあとがき	18切瀧収345-3	 ※自筆原稿 原稿用紙5枚
7	「畫期的の能楽堂」『観世』		・第21巻第7号
7	「平泉秋色」(P294～304) 『国語三』(高校用国語教科書)[日本書院]	19本瀧収220	 全378頁 付録45頁 ※「松島秋色」からの抜粋
7	釣の小説・随筆・句集『釣なかま』刊行 (角川新書40)[角川書店]	18本瀧収038 19本瀧収032-1 19本瀧収032-2	 ※「山女」は「山女魚」(19本瀧収011、19本瀧収021)と同文 本文185頁、あとがき2頁、新書判
	◆「鮎釣入門」「鮎釣日記」「美しい鮎」「山女釣」「鮎の沈み釣」「鮎釣風景」「鮎解禁日」「不漁の記」「冬のつり」「道流杭のカイツ釣」「気多川と天竜川」「擬餌針」「釣友達」「伐り禿山」「山女」「山中釣遊」「奇禍」／今年の鮎」「私の釣った魚」「釣の句抄」／あとがき		
8	「岐阜の鵜飼」(原稿)	18切瀧収343-3	 ラジオ東京の封筒(速達)に入っている。 原稿用紙12枚 ※書誌に記載なし
8	俳句7句「栗の花」『文藝春秋』		・第32巻第8号
8	「俳句の面白味」『俳句』		・「河東碧梧桐の中期の作品について」、第3巻第8号、収『海ほほづき』
9	第31回芥川賞選評「前作を超える佳作」『文藝春秋』		・第32巻第15号
10	「なづみ過ぎる」『言語生活』		・第37号[筑摩書房]、収『海ほほづき』
11	随筆「古い能面について」『淡交』		・収『生のまま素のまま』『巖に咲く花』

月	「作品名」『書名/掲載誌』[出版社]等	資料番号	資料写真・特記事項
12	「芥川さんの俳句」(P31～33) 『文藝』臨時増刊号(芥川龍之介読本) 第11巻第5号[河出書房]	19本瀧収146	 全231頁 収『海ほほづき』
12	「碧梧桐の書」(P4) 「解説」(P195～202) 『碧梧桐句集』(角川文庫980) (谷六花・瀧井孝作編集) 収『海ほほづき』	19本瀧収108 14原125-1図- 瀧(下書) 14原125-3図- 瀧(本文)	   全206頁 文庫判 (下書) (本文)
1.46 昭和 30 年			
1	随筆「追羽子」『時事通信関係の各紙』		・収『海ほほづき』
2	小説「逝く春」(P69～82) 『心』第8巻第2号[平凡社]	20切瀧収054-2	 収『野趣』
2	俳句論「定型と自由律と」『俳句』		・第4巻第3号、収『海ほほづき』
2	『結婚まで』刊行 (角川文庫 926)	19本瀧収033-1 19本瀧収033-2	 全224頁 文庫判(A6)
◆「結婚まで」「慾呆け」「積雪」「亀田の娘」「養子」「大阪商人」「ジャコブ」「暑い日」「松島秋色」／解説:網野菊			
2	(再)「積雪」(P182～190) 『昭和文学全集』53(昭和短篇集)[角川書店] (参考)「解説」(平野謙著)、「年譜」、付録 昭和文学 全集月報53号「私小説家の印象」(上林暁著)	19本瀧収075	  全398頁
2	「生活の危機の時に-「無限抱擁」を書いたころ-」『讀賣新聞』		・2/17朝刊學藝欄
3	第32回芥川賞選評「庄野氏を推す」『文藝春秋』		・第33巻第5號
3	「小猫」(P89～93) 猫の随筆・小説集『猫』[中央公論社]	19本瀧収217	 全191頁 ※書誌に記載なし
4	「大山花村早指将棋観戦記」『産業経済新聞』		・4/7～16夕刊(10回)
5	釣り随筆「解禁を待つ」『毎日新聞』		・5/29夕刊
6	俳句5句「牡丹」『小説新潮』		・第9巻第8號

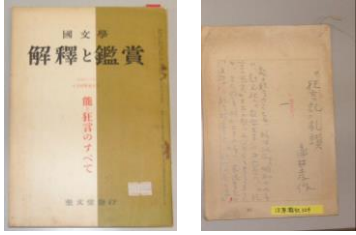
月	「作品名」『書名/掲載誌』[出版社]等	資料番号	資料写真・特記事項
6	「装幀のことなど」(P137～138) 『文藝』臨時増刊(現代文豪読本Ⅶ 志賀直哉讀本) 第12巻第17號[河出書房]	19本瀧収160	全300頁 収『志賀さんの生活など』 
6	「書道博物館を見る」『定本書道全集』		・「平安時代の(四)」第17巻月報9號、収『海ほほづき』
7	随筆「大會(能)」『小説新潮』		・第9巻第9號、収『生のまま素のまま』『巖に咲く花』
7	随筆「お産」『暮らしの手帖』		・第30號、収『生のまま素のまま』
8	「涼風漫語」『東京新聞』 「職務と信用という事」「深山の花-柳蘭など-」「馬瀬川のアユの味」、「アユ の友釣風景」「初孫について」「偶感、予感、共感など」		・8/1～9/5(週1回、全6回)
9	第33回芥川賞選評「坂上弘君に注目」『文藝春秋』		・第33巻第17號
9	「加能作次郎について」(自筆原稿) 『現代日本文学全集』第34巻「加能・葛西・牧野・嘉村 集」月報36號[筑摩書房]	18切瀧収345-4	※本なし 原稿用紙12枚 
10	「秋ふかき」の句について『婦人之友』		・第49巻第10號、収『海ほほづき』
12	随筆「飛騨高山」『暮らしの手帖』		・第32號、収『生のまま素のまま』
12	「無限抱擁」「結婚まで」「慾呆け」「積雪」「父祖の形 見」「伐り禿山」「浮寝鳥他俳句65句」(P5～121) 『現代日本文学全集』40(瀧井孝作・尾崎一雄・外村 繁・上林暁集)[筑摩書房] (参考)「瀧井孝作」(小林秀雄著)、「解説」(河盛好蔵 著)、「瀧井孝作年譜」	19本瀧収076	全431頁 
1.47 昭和 31 年			
3	第34回芥川賞選評「瘦我慢の説」を推す『文藝春秋』		・第34巻第3號
3	「古典の美しさ」『群像』		・第11巻第3號、収『海ほほづき』
4	『無限抱擁』刊行 (河出文庫80)[河出書房] 「あとがき」(瀧井著)、「解説」(山本健吉著)	18本瀧収028 19本瀧展034-1 19本瀧収034-2	全202頁 文庫判(A6) H19展示中 
6	「道志川」『別冊文藝春秋』		・第52號、収『野趣』『釣りの楽しみ』
7	「年魚・香魚・鰻」(P2～3) 『風報』第3巻第7號(通巻25號)7月號(2周年期年號) 6/4NHK放送原稿	19本瀧収138	全32頁 収『生のまま素のまま』『釣りの楽しみ』 
7	随筆「乳兒素描」『暮らしの手帖』		・第35號
7	「狂言の面白味」『文學』		・第24巻第7號
9	第35回芥川賞選評「有吉佐和子を推す」『文藝春秋』		・第34巻第9號

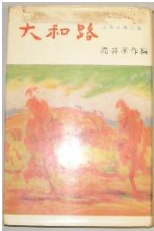
月	「作品名」『書名/掲載誌』[出版社]等	資料番号	資料写真・特記事項
9	「歌と俳句との間」『短歌』		・第3巻第9号[角川書店]
9	随筆「痔の手術」『暮らしの手帖』		・第36号
10	日記「某月某日(日光)」『日本経済新聞』		・10/12朝刊文藝欄
11	釣り随筆「飛騨の小坂と馬瀬」『つり人』		・第11巻第11号
11	随筆「写真とその思出-作家のアルバム-」『群像』		・第11巻第11号
12	随筆「記録映画と劇映画」『暮らしの手帖』		・第37号
1.48 昭和 32 年			
1	釣り随筆「釣場の風景」『東京中日新聞』		・1/3朝刊
2	随筆「川崎九淵讃」『暮らしの手帖』		・第38号
2	随筆「みなもと近く」『朝日新聞』		・2/10朝刊俳壇欄
2	(再)「河東碧梧桐」(P150～153) 『文藝』増刊号「俳句読本」第14巻第5号[河出書房]	20切瀧収055-22	 ※角川文庫『河東碧梧桐句集』解説と同文
2	「原稿を読む」(P3～4) 『素直』第1集[素直編集部、留女書房]	19本瀧収189	 全87頁
3	第36回芥川賞選評「藤枝氏の潔さ」『文藝春秋』		・第35巻第3号
3	小説「燈蛾」『心』		・第10巻第3号[平凡社]
3	(再)「折柴随筆」『別冊文藝増刊号』 (収録)「観心寺の秘仏」「莖立菜・千きす」		・「春の随筆特集」
4	大川徳二著『狂人物語』-「跋」(P249～251) [第二書房]	19本瀧収185	 全256頁
5	「座談会 小説の話」出席 浅見淵・瀧井孝作・尾崎一雄・上林明・井伏鱒二・外村繁・島村利正(P2～11) 「原稿を読む(二)」(P12～13) 『素直』第2集[素直編集部、留女書房]	19本瀧収190	 全76頁
5	随筆「天然アユ・放流アユ」『東京新聞』		・6/16朝刊俳壇欄
7	川端康成著『名人』-「解説」(P132～137) [角川文庫1558]	19本瀧収181	 全138頁
8	俳句13句「濱松吟」『南風』		・第15号(高知県出身文化人の随筆雑誌)

月	「作品名」『書名/掲載誌』[出版社]等	資料番号	資料写真・特記事項
8	「志賀さんの話を聴く(座談会)」出席 志賀直哉・瀧井 孝作・藤枝静男・島村利正(P2～13) 「原稿を読む」(三)(P14～15) 『素直』第3集[素直編集部、留女書房]	19本瀧収191	全74頁
9	第37回芥川賞選評「残菊抄」を推す『文藝春秋』		・第35巻第9號
9	俳句論「和歌と俳句の間」『俳句』		・第6巻第9號
10	「東府會の事」『群像』		・第12巻第10號
12	(再)「無限抱擁」『現代国民文学全集』14		・「青春小説集」[角川書店]
12	島村利正著「残菊抄」-「解説—島村利正君の小説—」(P9～14) [三笠書房]	19本瀧収169	全279頁
12	(参考)浅見淵著『昭和の作家たち』[弘文堂] ○「無限抱擁」論(P147～154) ○「無限抱擁」について(P154～158) ○「瀧井孝作集」解説(P158～166)	20本瀧収032	全240頁

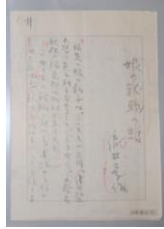
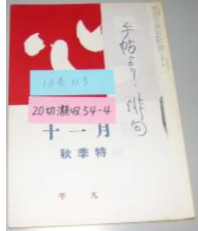
1.49 昭和 33 年

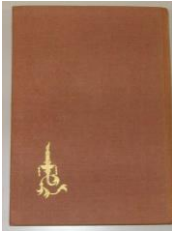
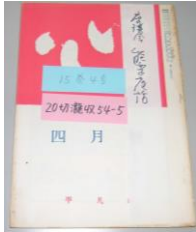
1	「餘白に」『俳句』		・第7巻第1號、「海紅堂昭和日記」(第2の1)のあとがき
1	釣り随筆「スミイカ釣」『東京中日新聞』		・1/1朝刊
1	随筆「手まりの句」『時事通信関係各紙』		
1	「小説の話(第2回)」座談会 出席 浅見淵・井伏鱒二・瀧井孝作・外村繁・島村利正(P2～17) (再)「島村利正君の小説—「残菊抄」解説」(P19～21) 「原稿を読む(四)」(P22～23) 『素直』第4集[素直編集部、留女書房]	19本瀧収192	全86頁
3	第38回芥川賞選評「涼み臺」を推す『文藝春秋』		・第36巻第3號
3	随筆「飛騨の品漬」『趣味と生活』		
4	「四十年前の思出」『層雲』		・第46巻第1號
4	「風景小説」『群像』		・第13巻第4號
4	「瀧井孝作氏を中心とする文学諸問題についての座談会」出席 浅見淵・瀧井孝作・上林暁・尾崎一雄・網野菊・井伏鱒二・島村利正・外村繁(P2～21) 「原稿を読む(五)」(P22～23) 『素直』第5集[素直編集部、留女書房]	19本瀧収193	全81頁
5	随筆「コヒのぼり・郷愁」『朝日新聞』		・5/4朝刊歌壇欄
6	随筆「釣の味はひ—“釣りなかも”のこと」『PHP』		・第122號[PHP研究所]
6	(再)「飛騨の風景」『現代紀行文学全集』第3巻		・「中部日本編」[修道社]、初S5.11『週刊朝日』

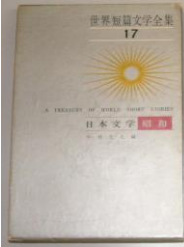
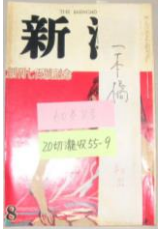
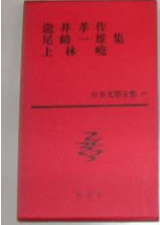
月	「作品名」『書名/掲載誌』[出版社]等	資料番号	資料写真・特記事項
6	(再)「無限抱擁」(P269～348) 『日本国民文学全集』第25巻(大正名作集(三)) [河出書房新社] (参考)「瀧井孝作年譜」、「解説」(平野謙著)	19本瀧収078	 全362頁
7	(再)「松島秋色」『現代紀行文学全集』第1巻		・「北日本編」[修道社]、初S27.8『群像』
7	「さわやかな味」『圖書新聞』		・第460號、志賀直哉『八手の花』評
8	隨筆「上質の鮎」『小説新潮』		・第12巻第11號
8	「地橙孫句抄」のこと『俳句』		・第7巻第8號、9月刊同書の序文
8	(再)「四十年前の思出」「釣の味はひ」(P2～5) 「原稿を読む(六)」(P6～7) 『素直』第6集[素直編集部、留女書房]	19本瀧収194	 全74頁
7	(再)「安房山越え」(P41～43) 『現代紀行文学全集』第7巻(山岳篇(下))[修道社] 初S10.8『讀賣新聞』	19本瀧収077	
9	第39回芥川賞選評「未熟な作品の中で」『文藝春秋』		・第36回第10號
9	『地橙孫句抄』—「序」 [地橙孫句抄刊行会] (喜谷六花選句)瀧井孝作編纂	19本瀧収109	 全206頁
10	「“狂言記”礼讃-文学としての狂言の脚本-」(P74～82) 『国文学解釈と鑑賞』第23巻第10號[至文堂]	18原瀧収324 (原稿) 19本瀧収137 20切瀧収054-39	 全248頁
11	俳句31句「瀧井孝作篇」『現代国民文学全集』第36巻		・「国民詩集」[角川書店]
11	「正しい裁判を」(アンケート「松川裁判と広津和郎」への 瀧井の回答)(P477) 『中央公論』第73年第12號 第846號(松川裁判特別 號)[中央公論社]	19本瀧収144	 全480頁
12	「芥川さんのことども」『列冊文藝春秋』		・第67號、収『生のまま素のまま』-改「芥川さんの墓」
12	俳句10句「内房釣趣」『東京中日新聞』		・12/29朝刊
1.50 昭和 34 年			
3	第40回芥川賞選評「新鮮味」『文藝春秋』		・第37巻第3號
3	隨筆「生のまま素のまま」『朝日新聞』		・3/17朝刊學藝欄

月	「作品名」『書名/掲載誌』[出版社]等	資料番号	資料写真・特記事項
4	(再)「奈良」(P86～95) 『大和路－日本の風土記－』[宝文館] (瀧井孝作篇) ※『婦人公論』掲載の「奈良の春」(初7.3)、「奈良の夏」(初S13.7)を併せたもの	19本瀧収110	全291頁 
4	「新しい時代の祝福」『岐阜タイムス』		・4/10朝刊、「皇太子ご成婚の日に」
4	「文学よもやま話」座談会 出席 浅見淵・瀧井孝作・上林暁・外村繁・島村利正・網野菊・井伏鱒二(P2～13) 「原稿を読む(七)」(P14～15) 『素直』第7集[素直編集部、留女書房]	19本瀧収195	全100頁 
6	俳句7句「竹岡鯛釣行」『文藝春秋』		・第37巻第6號
6	「リアルな能面」『観世』		・第26巻第6號[檜書店]、能面特集
8	随筆「寝袋」『心』		・第12巻第8號[平凡社]
9	第41回芥川賞選評「北杜夫を推す」『文藝春秋』		・第37巻第9號
9	「飛騨の言葉の美しさ」『週刊文春』		・第1巻第21號、グラビア「日本とことどころ」にそえて
10	(再)「年魚・香魚・鰻」(P308～310) 『風報随筆』[風報編集室]	19本瀧収221	全385頁 限定750部 
11	「荷風管見」(P2～3) 「原稿を読む(八)」(P4～5) 「『生のまま素のまま』後記」(P6) 『素直』第8集[素直編集部、留女書房] (参考)「『生のまま素のまま』推薦文」(河盛好蔵著6頁)	19本瀧収196	全84頁 
11	随筆・評論集『生のまま素のまま』刊行 [桜井書店]	18本瀧収047 19本瀧収035-1 19本瀧収035-2	全359頁 A5判変型 
◆「生のまま素のまま」「みなもと近く」「灯蛾」「木登り」「お産」「痔の手術」「乳児素描」「記録映画と劇映画」「川崎九淵讀」「新しい時代の祝福」「職務と信用といふ事」「深山の花(柳蘭など)」「馬瀬川のアユの味」「アユの友釣風景」「初孫について」「偶感・予感・共感など」「飛騨高山の今昔」「飛騨高山」「コヒのぼり・郷愁」「春三題」「上質の鮎」「年魚・香魚・鰻」「釣場の風景」「スミイカ釣」「釣の味はひ」「能のけいこを見る」「八十翁の能」「大会(能)」「狂言「釣狐」」「狂言記礼讃」「能面挿話」「リアルな能面」「古い能面について」「新薬師寺の本尊」「志賀さんの文学」「志賀さんの絵と書」「芥川さんの墓」「煙草と悪魔」解説」「人物素描－川端康成氏－」「名人」解説」「太宰治の作品」「斎藤茂吉再読雑感」「二人の異色作家」「新語隠語に関して」「文学と将棋」「風景小説」「写真とその思出」「『無限抱擁』の頃」「私の読書遍歴」「私の文学修業」／後記			
11	古木鐵太郎著『紅いノート』－序文「追憶」(P7～12) [校倉書房] ※S32.2『心』掲載の「逝く春」からの抜粋	19本瀧収235	全271頁 

月	「作品名」『書名/掲載誌』[出版社]等	資料番号	資料写真・特記事項
12	文壇句会「師走のどかに」(俳句3句)(P17～24) 『文藝春秋』別冊 第70號	20切瀧収053-12	(複写) ※書誌に記載なし
1.51 昭和 35 年			
1	随筆「装幀楽屋話」(P84～88) 『心』第13巻 第1號[平凡社]	20切瀧収054-3	収『海ほほづき』
1	随筆「毛筆の字」『風報』		・第67號、収『海ほほづき』
1	随筆「プリ・品漬・岩梨など」『岐阜日日新聞』		・1/7
1	随筆集・句集『海ほほづき』刊行 [桜井書店]	19本瀧収036-1 19本瀧収036-2	全305頁 A5判変型
◆「海ほほづき」「碧梧桐の書」「碧梧桐句集解説」「海紅堂昭和日記の解説」「俳句の面白味」「定型と自由律と」「歌と俳句の間」「子規句集を読む」「虚子句集を読み乍ら」「『柿二つ』の讃」「漱石の俳句」「芥川さんの俳句」「俳人井月とその句集」「鶴平さんと『土』」「『土』を読む」「『土以前』を読む」「地橙孫句抄の序」「芭蕉の柳の句」「秋ふかき」の句について」「句ひを捉へた句」「手マリの句」「追羽子」「元旦の俳句」「今は昔」「四十年前の思出」「書道博物館を見る」「旅を思ふ」「飛騨言葉の美しさ」「飛騨の品漬」「古典の美しさ」「なづみ過ぎる」「すぐれた水墨画ー六平太翁舞囃子ー」「荷風管見」「私の生活」「寝袋」「装幀楽屋話」「毛筆の字」「手帖より・俳句・二百句」/後記。			
1	随筆「春慶塗のこたつ」『産業経済新聞』		・1/23朝刊文藝欄、収『翁草』『かのこ百合』
1	「知恵づくのが興味津津」『東京新聞』		・1/25夕刊文化欄「孫と私」
1	俳句7句「冬木立」(P14) 『ぞくらふ』第1集[雑魚くらふ]	19本瀧収151	全24頁 ※書誌に記載なし
2	(再)「春慶塗のこたつ」『飛騨新聞』		・2/6、第667號
3	第42回芥川賞選評「感情のウェイヴ」『文藝春秋』		・第38巻 第3號
4	俳句5句「浅春」『別冊小説新潮』		・第14巻 第15號
4	「(鼎談)四季の川釣り(上)」出席 土師清二・井伏鱒二・瀧井孝作、司会 丸岡明(P8～14) 『ぞくらふ』第2集[雑魚くらふ]	19本瀧収149	全24頁 ※書誌に記載なし
5	(再)「魚釣り」(P146～154) 『文学に見る日本の川ー多摩川ー』 [日本週報社](瀧井孝作篇) ※初『新潮』S7.7「魚釣」、『都新聞』S12.6「風物詩」	19本瀧収111	全414頁
6	釣り随筆「春の鯛釣り」『小説新潮』		・第14巻 第8號、収『翁草』『釣りの楽しみ』

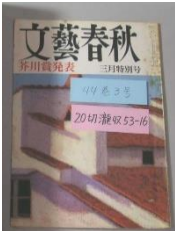
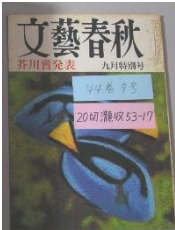
月	「作品名」『書名/掲載誌』[出版社]等	資料番号	資料写真・特記事項
7	「〈座談会〉大衆文学と純文学」出席 浅見淵・亀井勝一郎・河盛好蔵・平野謙・瀧井孝作・島村利正(P2～16) (再)『海ほぼつき』後記」(P17) 『素直』第9集[素直編集部、留女書房] (参考)『『海ほぼつき』推薦文』(井伏鱒二著)(P17)	19本瀧収197	 全88頁
8	「娘が文藝春秋社に就職した話」『婦人公論』	21原瀧収172	 (原稿のみ) ・第45巻第9號 ・収『翁草』-改「娘の就職」
9	第43回芥川賞選評「佳い味」『文藝春秋』		・第38巻第9號
9	(再)「志賀さんのお話を聴く」(座談会 出席 志賀直哉・藤枝静男・瀧井孝作・島村利正)(P295～318) 『夕陽』-「編纂覚書」(P407～408) 志賀直哉随筆談話集『夕陽』(瀧井孝作編纂・装幀・題字)[桜井書店]	19本瀧収112	 全408頁
9	「(鼎談)四季の川釣り(下)」(出席 土師清二・井伏鱒二・瀧井孝作、司会 丸岡明)(P8～16) 『ごくらふ』第3集[雑魚くらふ]	19本瀧収150	 全24頁 ※書誌に記載なし
11	俳句24句「手帖より」(P250～251) 『心』第13巻第11號[平凡社]	20切瀧収054-4	
11	「小澤碧童のこと 碧童句集を編みながら」(P22～27) 『俳句』第9巻第11號[角川書店] ※『碧童句集』の解説を転載	20切瀧収055-20	
11	『碧童句集』-「解説」(P373～388) 『碧童句集』[小澤朝女](瀧井孝作編纂、喜谷六花・岡田平安堂・小穴隆一・瀧井孝作監修) ※読売文学賞受賞。	19本瀧収113	 全399頁
11	随筆「俳人の生活-六花・碧童とその句集-」『朝日新聞』		・11/27夕刊、収『翁草』
12	小説「青葙の梅」『群像』		・第15巻第12號、収『野趣』

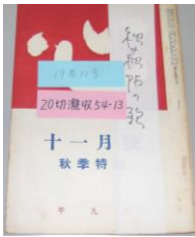
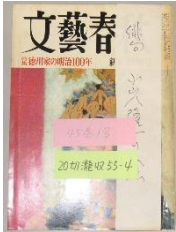
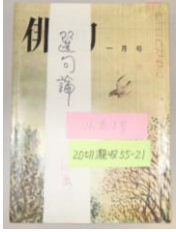
月	「作品名」『書名/掲載誌』[出版社]等	資料番号	資料写真・特記事項
1.52 昭和 36 年			
1	随筆「飛騨の赤無」(P43～45) 『あまカラ』第113号 新年号[甘辛社]	19本瀧収145	全71頁
			
1	随筆、八王子小品「オハラヒの風景」「ダルマ市」『日本経済新聞』		・1/8朝刊、収『翁草』『かのご百合』
3	第44回芥川賞選評「甘美な恋愛小説」『文藝春秋』		・第39巻第3号
3	「竹岡のタイ」『釣り場三百六十五日』(高崎武雄監修)		・[東京中日新聞出版局]
4	随筆「春と名人戦」『朝日新聞』		・4/9夕刊、学藝欄
4	釣り随筆「竹岡の春のタイ」『東京中日新聞』		・4/18朝刊、つり欄
7	俳句6句「芦の角」(P6) 『ざくらぶ』第4集[雑魚くらぶ]	19本瀧収148	全24頁 ※書誌に記載なし
			
9	第45回芥川賞選評「技術幼稚」『文藝春秋』		・第39巻第9号
10	「狂言の中の歌謡」『日本古典文学大系』第43巻		・「狂言集(下)」月報第54号[岩波書店] ・収『翁草』『巖に咲く花』
12	「瀧井孝作の巻」 『文壇よもやま話』下巻 ※S35.7.19にNHK第二放送で放送された教養特集「瀧井孝作さんを囲んで」を活字化したもの。聞き手は池島信平と嶋中鵬二(P52～69)[青蛙房]	19本瀧収203	全251頁
			
1.53 昭和 37 年			
1	「高山」『毎日新聞』		・1/13夕刊「ふるさとの初春」
2	「大山升田三番勝負決戦将棋観戦記」『産業経済新聞』		・2/11～24夕刊に14回連載
3	第46回芥川賞選評「異色もの」『文藝春秋』		・、第40巻第3号
4	「能楽夜話」(座談会 出席 近藤乾三・谷川徹三・野上 彌生子・瀧井孝作・安倍能成)(P27～49) 『心』第15巻第4号[平凡社]	20切瀧収054-5	
			
5	「室生(犀星)さんを悼む」『心』		・第15巻第5号[平凡社]
5	「制作は発見なり-「無限抱擁」」『朝日新聞』		・5/24朝刊学藝欄、収『翁草』『かのご百合』
7	「アユつりの魅力」『東京中日新聞』		・7/13朝刊、収『志賀さんの生活など』『釣りの楽しみ』
9	第47回芥川賞選評「子供っぽい作」『文藝春秋』		・第40巻第9号

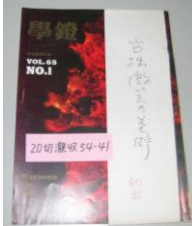
月	「作品名」『書名/掲載誌』[出版社]等	資料番号	資料写真・特記事項
11	小説「街路樹」(P84～88) 『心』第15巻第11号[平凡社]	20切瀧収054-6	 収『翁草』『かのご百合』
11	俳句5句「秋の草」『小説新潮』		・第16巻第11号
12	(再)「慾呆け」(P62～70) 『世界短篇文学全集』17(日本文学/昭和)[集英社] (参考)「解説」(中村光夫著)	19本瀧収079	  全430頁
1.54 昭和 38 年			
3	第48回芥川賞選評「「美少女」は佳い」『文藝春秋』		・第41巻第3号
4	「私小説作家の精神」(座談会 出席 瀧井孝作・川崎 長太郎・尾崎一雄)(P151～167) 『群像』第18巻第4号[講談社]	20切瀧収054-40	
4	「延々・光と水の世界-濱名湖めぐり-」『朝日新聞(中部)』		・4/15朝刊家庭欄
7	小説「野趣」(P70～85) 『群像』第18巻第7号[講談社]	19本瀧収117	 全252頁 収『野趣』
8	随筆「一本橋」(P30～31) 『新潮』第60巻第8号 創刊700号記念[新潮社]	20切瀧収055-9	 収『志賀さんの生活など』
9	第49回芥川賞選評「混沌とした味」(P278) 『文藝春秋』第41巻第9号[文藝春秋]	20切瀧収053-13	 (切り取り)
10	俳句5句「庭前新秋」『小説新潮』		・第17巻第10号
10	(再)「無限抱擁」(P7～151) 『日本文学全集』33(瀧井孝作・尾崎一雄・上林暁集)[新潮社] (参考)「注解」(吉田精一著)、「瀧井孝作年譜」、「解説」(河盛好蔵著)	19本瀧収080	  全509頁

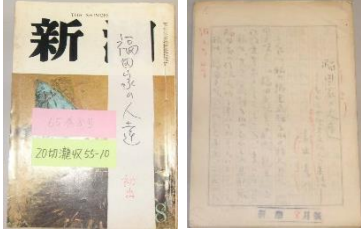
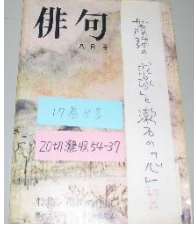
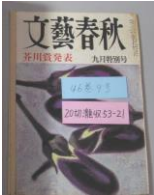
月	「作品名」『書名/掲載誌』[出版社]等	資料番号	資料写真・特記事項
10	志野釉皿(「積雪」と自筆)の写真 『心』第16巻第10号[平凡社]	20切瀧収054-7	※書誌に記載なし 
11	(再)「河東碧梧桐」「小澤碧童」『新俳句講座』第2巻 (収録)「海ほほづき」「俳句の面白味」「提携と自由律」「碧梧桐の随筆」「碧梧桐の書」「小澤碧童のこと」(S35.11『俳句』再掲)		・「現代新俳句の焦点」[新俳句社]
12	(参考)『昭和文学史』薩摩叢書15(平野謙著)[筑摩書房] 20本瀧収029 ○瀧井についての記述あり。		全306頁 索引126頁 
1.55 昭和 39 年			
1	俳句20句「花草一束」(P100～101) 『心』第17巻第1号[平凡社]	20切瀧収054-8	
3	第50回芥川賞選評「ゆがんだもの」『文藝春秋』		・第42巻第3号
4	「芥川賞三十年」『文藝春秋』		・第42巻第4号、通巻600号
7	追悼記「定家かつらの花」(佐藤春夫追悼XP88～90) 『心』第17巻第7号[平凡社]	20切瀧収054-9	
7	釣り随筆「今年の馬瀬川」『東京中日新聞』		・7/24朝刊
9	第51回芥川賞選評「立原氏の文章」(P256～257) 『文藝春秋』第42巻第9号	20切瀧収053-14	切り取り 
9	随筆「碧梧桐の鮎の句」『朝日新聞PR版』		・9/13朝刊、「四季」欄、収『翁草』
9	随筆「高山の朝市」『朝日新聞PR版』		・9/20朝刊、「四季」欄、収『翁草』
9	随筆「珍至梅」『朝日新聞PR版』		・9/27朝刊、「四季」欄、収『翁草』
9	(再)「戦場風景」(P357～397) 『昭和戦争文学全集』2(中国への進撃)[集英社] (参考)「解説」(大岡昇平著)	19本瀧収081	全494頁 ・初S21.5『世界』 
10	俳句5句「朝顔」『小説新潮』		・第18巻第10号
10	随筆「庭ナナカマド」『朝日新聞PR版』		・10/4朝刊、「四季」欄、収『翁草』

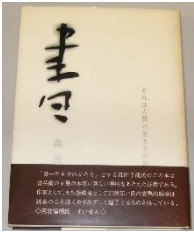
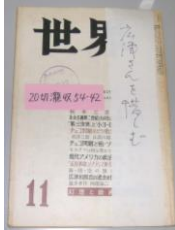
月	「作品名」『書名/掲載誌』[出版社]等	資料番号	資料写真・特記事項
10	随筆「白黄の石榴の花」『朝日新聞PR版』		・10/11朝刊、「四季」欄、収『翁草』
10	随筆「高山の塩煎餅」『朝日新聞PR版』		・10/18朝刊、「四季」欄、収『翁草』
11	荒垣秀雄、細江光洋著『飛騨風土と民俗評』－書評「深い郷土愛にうたれる」『週刊読書人』		
1.56 昭和 40 年			
1	「私の本「郷愁」」『読書新聞』		・1/10朝刊「ほん」欄
3	第52回芥川賞選評「伊藤沆氏を推す」『文藝春秋』		・第43巻第3號
6	俳句21句「郷愁の句」『心』		・第18巻第6號[生成會]
7	俳句8句「苺と鮎」(P67) 『文藝春秋』第43巻第7號	20切瀧収055-3	
9	第53回芥川賞選評「「玩具」もよい」(P272～273) 『文藝春秋』第43巻第9號	20切瀧収053-15	 (切り取り)
10	俳句10句「鮎十句」(P1) 『ざくらぶ』第4巻第2號 通巻10號(秋季號)創刊7周年 記念特集號[雑魚くらぶの会]	19本瀧収152	 全32頁 ※書誌に記載なし
11	俳句5句「秋庭」『小説新潮』		・第19巻第11號
11	「「故郷」飛騨高山」『潮』		・第61號
12	随筆「水仙」『朝日新聞』		・12/8夕刊文化欄、収『翁草』
12	(再)「無限抱擁」「慾呆け」「積雪」「父祖の形見」(P3～150)、「瀧井孝作年譜」(自筆年譜) 『現代文学大系』31(瀧井孝作・尾崎一雄・上林暁集)[筑摩書房] (参考)解説「人と文学」(浅見淵著)、付録 月報33(S40.12)「瀧井先生の印象」(饗庭節著 P1～2)、参考文献(P8)	19本瀧収082	 全500頁
1.57 昭和 41 年			
1	小品「行摩りのひと」(P108～109) 『心』第19巻第1號[平凡社]	20切瀧収054-10 20切瀧収054-11 20切瀧収054-12	 収『かのこ百合』
1	釣り随筆「初釣り」『東京中日新聞』		・1/1朝刊、収『翁草』『釣りの楽しみ』

月	「作品名」『書名/掲載誌』[出版社]等	資料番号	資料写真・特記事項
3	第54回芥川賞選評「北の河」を推す(P297) 『文藝春秋』第44巻第3号 3月特別号	20切瀧収053-16	 (切り取り)
3	(再)「無限抱擁」「亀田の娘」「養子」「暑い日」「大火の夜」「蟹」「伐り禿山」、俳句25句「折柴句集」より、俳句15句「浮寝鳥」よりP5～138 『日本現代文学全集』64(瀧井孝作・尾崎一雄・網野菊集)[講談社] (参考)「作品解説」(山本健吉著)、「瀧井孝作入門」(浅見淵著)、「瀧井孝作年譜」(保昌正夫作製)、「瀧井孝作参考文献」(保昌著)、付録 月報66(1966.3)「瀧井さん網野さん尾崎さんのこと」(藤枝静男著 P6～8)	19本瀧収083	 全414頁
-	(参考)『折舟』(古木鐵太郎著)[校倉書房] ○(再)「秋雨」(P5～22) ○(再)「手賀沼」(P234～248)	20本瀧収031	 全324頁
6	(再)「河東碧梧桐と中村不折」(P2～7) 「龍眠會同人の略歴」 『墨美』第159号[墨美社]	19本瀧収175	 全48頁
8	自選81句「折柴句集より」『新俳句講座』3		・「自由律俳句作品集」[新俳句社]、非売品
9	第55回芥川賞選評「見事な交響音」(P325～326) 『文藝春秋』第44巻第9号 9月特別号	20切瀧収053-17	 (切り取り)
10	随筆「世相の陰悪」(P173) 『群像』第21巻第10号(創刊20周年記念)[講談社]	19本瀧収121	 全364頁 収『志賀さんの生活など』
10	俳句5句「ひとを訪うて」(P37) 『小説新潮』第20巻第10号	20切瀧収055-15	
10	(再)「狂言の寫實」『古典文学全集』20		・「能・狂言名作集」[筑摩書房]、初S19.11『能楽全集』6

月	「作品名」『書名/掲載誌』[出版社]等	資料番号	資料写真・特記事項
11	随筆「秋萩帖の歌」(P291～295) 『心』第19巻第11号[平凡社]	20切瀧収054-13	 収『翁草』『かのご百合』
-	(参考)『大正の作家』(古木鐵太郎著)[桜楓社] ○(再)「現代作家印象記 瀧井孝作」(P37～40) ○(再)「瀧井孝作論」(P125～147) ○(再)瀧井のことを記述した小説「薄暮」(P82～107) ○(再)「秋雨－改造社のころ－」(P150～166)	20本瀧収033	 全193頁
12	(再)「碧梧桐の俳句」(P2～4) 「碧梧桐の書」(座談会 出席 瀧井孝作・岩佐新・沢田大暁・森田子龍)(P5～20) 『墨美』第164号[墨美社] 初S29『碧梧桐句集』解説	19本瀧収174	 全68頁
1.58 昭和 42 年			
1	俳句8句「小穴隆一の絵」(P83) 『文藝春秋』第45巻第1号	20切瀧収055-4	
1	「選句論-碧梧桐自選句集に付けて-」(P74～82) 『俳句』第16巻第1号[角川書店]	20切瀧収055-21	 収『翁草』
1	随筆「くちなしの實」『朝日新聞』		・1/5タ刊文化欄、収『翁草』
2	「小説の読み方」『東京新聞』		・2/20,21タ刊文化欄
3	(参考)『作家と女性の間』(清水信著)[現文社] ○(再)「愛の純粋な美しさ-瀧井孝作」(P160～163)	20本瀧収037	 全254頁
3	第56回芥川賞選評「人の命の重さ」(P295～296) 『文藝春秋』第45巻第3号	20切瀧収053-18	 (切り取り)

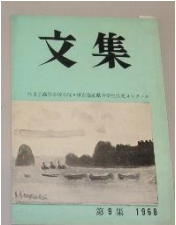
月	「作品名」『書名/掲載誌』[出版社]等	資料番号	資料写真・特記事項
6	俳句20句「春の旅」(P16～19) 『俳句』第16巻第6号[角川書店]	20切瀧収054-36	
7	「能の話-坂元雪鳥能評全集-」(P386～394) 俳句1句「春雷」 『心』第20巻第7号[平凡社] ※「心」同人出品の呉須志野四方飾板「春雷」(瀧井が俳句を自筆)の写真	20切瀧収054-14	 収『翁草』『巖に咲く花』
9	第57回芥川賞選評「挺身者」(319～320) 『文藝春秋』第45巻第9号	20切瀧収053-19	 切り取り
6	「松山の三つの寺」『太陽』	・第52号	
9	「無限抱擁」(P5～151) 『日本文学全集』14[新潮社](瀧井孝作・宇野浩二・葛西善蔵・中勘助・菊池寛・嘉村磯多集) (参考)「注解」(吉田精一著)、「瀧井孝作年譜」、「解説」(瀬沼茂樹著)	19本瀧収084	 ※日本文学全集(19本瀧収080)をセット販売用に編集し直したものの全519頁
10	俳句5句「花龍膽」(P133) 『小説新潮』第21巻第10号	20切瀧収055-16	
10	「無限抱擁」「邦男と二宮と」「彼の周囲」「責任自殺」 「松島秋色」(P7～200) 『日本文学全集』36(瀧井孝作・尾崎一雄集)[集英社] (参考)「注解」(小田切進著)、「作家と作品」(丹羽文雄・浅見淵著)、「年表」(小田切著)	18本瀧収360 19本瀧収085-1	 全444頁
10	随筆「縫合せの貝」『朝日新聞』	・10/14夕刊文化欄、収『翁草』	
12	随筆「私の第一創作集・四十五年の昔」『群像』	・第22巻第12号	
1.59 昭和 43 年			
1	美術随筆「古拙微笑の美術」(P4～9) 『学燈』第65巻第1号[丸善]	20切瀧収054-41	 収『翁草』『かのこ百合』『巖に咲く花』

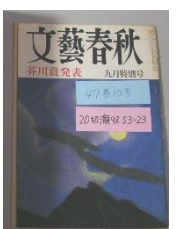
月	「作品名」『書名/掲載誌』[出版社]等	資料番号	資料写真・特記事項
3	第58回芥川賞選評「奇跡の市」は強烈」(P318～319) 『文藝春秋』第46巻第3号	20切瀧収053-20	 切り取り
3	随筆「翁草」『産経新聞』		・3/12夕刊文藝欄、収『翁草』
4	「無限抱擁」「結婚まで」「慾呆け」「積雪」「伐り禿山」 「野趣」(P5～207) 『日本の文学』36(瀧井孝作・梶井基次郎・中島敦集)[中央公論社] (参考)「注解」(磯貝英夫著)、「解説」(山本健吉)、「年譜」 、付録51号(S43.4)「瀧井・梶井・中島の文学[対談]」(中村光夫・山本健吉)、「『無限抱擁』について」 (外村繁著(新潮社文庫『無限抱擁』解説より))	18本瀧収016 19本瀧収086	 全357頁
8	「福田家の人達-むかしの地方文化人の生活-」(P163 ～176) 『新潮』第65巻第8号及び掲載原稿	20切瀧収055-10 14原122-1図一瀧 18原瀧収171	 ([18原瀧収171]写真無し)
8	「世阿彌の「求塚」と漱石の「心」」(P46～49) 『俳句』第17巻第8号[角川書店]	20切瀧収054-37	 収『志賀さんの生活など』『巖に咲く花』
8	短編小説集『野趣』刊行 [大和書房]	18本瀧収044 19本瀧展037	 全297頁 A5判 限定300部 特製版 H19展示中
◆「野趣」「青萼の梅」「道志川」「逝く春」「奇禍」「Kの思出」「流行と信用」「松島秋色」「山の姿」「釣友達」「純潔」「身辺新緑」／あとがき			
8	随筆、評論集『翁草』刊行 [求龍堂]	18本瀧収027 19本瀧収038	 全250頁、A5判変型
◆「翁草」「縫合せの貝」「くちなしの実」「水仙」「碧梧桐の鮎の句」「高山の朝市」「珍至梅」「庭ナナカマド」「白黄の石榴の花」「高山の塩煎餅」「八王子小品-オハラヒの風景・ダルマ市-」「街路樹」「行摩りの人」「初釣」「春の鯛釣」「今年の馬瀬川」「松山行」「生生撥刺した作品」「志賀さんの文章」「春慶塗のこたつ」「靈感(インスピレーション)の宝庫-谷崎松子夫人-」「定家かづらの花」「室生さんを悼む」「芥川賞と宇野浩二」「『芥川龍之介遺墨』を見て-遠藤古原草のこと-」「俳人の生活-六花・碧とその句集-」「碧梧桐忌」「選句論-碧梧桐自選句集に付けて-」「制作は発見なり」「娘の就職」「秋萩帖の歌」「能の話-坂元雪鳥能評全集-」「狂言の中の歌謡」「狂言の小舞」「佐渡の能面」「古拙微笑の美術」／あとがき。			
9	第59回芥川賞選評「希有の文才」(P320～321) 『文藝春秋』第46巻第9号	20切瀧収053-21	 切り取り

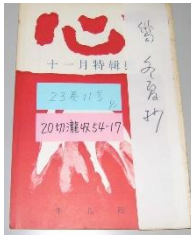
月	「作品名」『書名/掲載誌』[出版社]等	資料番号	資料写真・特記事項
10	森田子龍著『書』生き方のかたち－推薦文「書の見方・書のかき方を、親切に説く」 [日本放送出版協会]	19本瀧収183	全216頁 
10	「父祖の形見」「大火の夜」「梅の花」「山の姿」(P1～62) 『日本短篇文学全集』第27巻(瀧井孝作・上林暁・外村繁集)[筑摩書房] (参考)「鑑賞」(串田孫一著)	19本瀧収087	全282頁 ※しおりに「(再)「風景小説」、初S33.4『群像』」 
10	「無限抱擁」(P177～179) 『日本の名作』[金園社]	20本瀧収019	全294頁 ※書誌に記載なし 
11	「広津(和郎)さんを惜しむ」(P213～216) 『世界』第276号[岩波書店]	20切瀧収054-42	
11	俳句20句「駒ヶ根行」(P294～296) 『心』第21巻第11号[平凡社]	20切瀧収054-15	

1.60 昭和 44 年

1	小説「俳人仲間 第1篇 飛騨高山にて」(P168～205) 『新潮』第66巻第1号	19本瀧収162 14原115-2図-瀧(原稿)	 (原稿)全292頁2束 (冊子)
1	(再)「純潔－「藪の中」をめぐる」(P202～213) 『芥川龍之介全集』別巻(芥川龍之介著／吉田精一編)[角川書店]	20本瀧収010	全496頁 ・初S26.1『改造』 

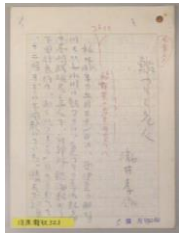
月	「作品名」『書名/掲載誌』[出版社]等	資料番号	資料写真・特記事項
2	喜谷六花追悼「佛者六花翁」(P104～114) 『俳句』第18巻第2号[角川書店]	20切瀧収054-38	
2	(再)「志賀さんの話を聞く」『志賀直哉対話集』		・[大和書店]、初S22.8『素直』
2	「心をこめて書くこと」 『東京都近県・中学作文コンクール文集』第9集[八王子高等学校編]	19本瀧収187-2	 八王子高等学校の封筒に収納 全82頁 ※書誌に記載なし
3	第60回芥川賞選評「小粒の感じ」(P344～345) 『文藝春秋』第47巻第3号	20切瀧収053-22	 切り取り
3	(再)「福田家の人達—むかしの地方文化人の生活—」 (P591～600) 『福田夕咲全集』[福田夕咲全集刊行会]	19本瀧収229	 全633頁 500部限定出版 ・初S43.8『新潮』
3	随筆「将棋の部屋」(P88～89) 『有段者 将棋名鑑』(昭和44年版)[日本将棋連盟] ※八王子市の参段の欄に瀧井の名前あり(P244)	19本瀧収167	 全380頁
4	「無限抱擁」「弾力のある氣持」「長火鉢」「道志川」 「青萼の梅」(P21～169) 『現代日本文学館』25(瀧井孝作・牧野信一・尾崎一雄集)[文藝春秋] (参考)「瀧井孝作伝」「解説」(河盛好蔵著)、「注解意」「瀧井孝作年譜」(瀬沼茂樹著)、現代日本文学館27付録(S44.4)「瀧井孝作スケッチ」(P1～2)	19本瀧収088	 全535頁
4	俳句59句「彌生盡」 『文人俳句歳時記』(石塚友二篇)[生活文化社]	19本瀧収232	 全356頁
4	読書随筆「書きにくい少年時代」『朝日新聞』		・4/28朝刊
4	俳句1句「柳」『Selection for Men』		・銀座・英國屋パンフレット

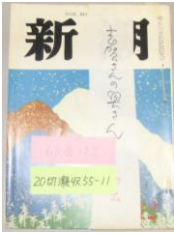
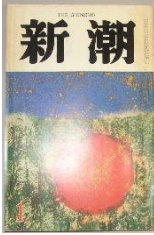
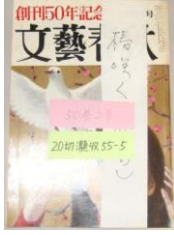
月	「作品名」『書名/掲載誌』[出版社]等	資料番号	資料写真・特記事項
5	(再)「積雪」(P335～343) カラー版『日本文学全集』別巻1(現代名作集)[河出書 房新社] (参考)「注釈」(紅野敏郎著)、「年譜」(保昌正夫著)、 「解説」(山本健吉著)	19本瀧収089	 全398頁
5	「心」同人出品作「無限抱擁筒花入」の写真 『心』第22巻第5号[平凡社]	20切瀧収055-24	 ※書誌に記載なし
8	俳句14句「花薔薇」(P240～241)、 ※「心」色紙展出品作(瀧井が俳句を自筆)の寫真 『心』第22巻第8号[平凡社]	20切瀧収054-16	
8	(参考)『われらの性はいかに描かれているか』(由見多敬 著)[象文社] ○「二人だけの世界「無限抱擁」」(P101～108)	20本瀧収020	 全283頁
9	第61回芥川賞選評「織細美」(P291～292) 『文藝春秋』第47巻第10号	20切瀧収053-23	 切り取り
9	『無限抱擁』刊行 (名著復刻全集)[日本近代文学館]	18本瀧収031 19本瀧収039	 改造社刊の初 版本(19本瀧展 003)の復刻版。
9	(再)「大火の夜」『多摩文化』 - (参考)国文学『解釈と鑑賞』第34巻第4号 第419号(芥川 19本瀧収238 と『大正』)[至文堂] ○「瀧井と芥川」(保昌正夫著)(P74～78)	19本瀧収238	 ※書誌に記載なし 全237頁
1.61 昭和 45 年			
1	俳句51句「竹の落葉」(P189～193) 俳句集『日本の詩歌』30[中央公論社] (参考)阿部善三男著の解説、「自由律俳句の作家た ち」(山本健吉著)	19本瀧収090	 全424頁

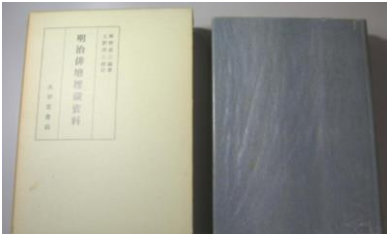
月	「作品名」『書名/掲載誌』[出版社]等	資料番号	資料写真・特記事項
2	(再)「伊藤観魚-名古屋の書家-」(P316～317) 『観魚』[観魚刊行会] ※S41.11「伊藤観魚回顧展」案内状の再録	19本瀧収218	 全375頁
3	第62回芥川賞選評「森萬紀子に注目」(P337～338) 『文藝春秋』第48巻第3号	20切瀧収053-24	 切り取り
5	(筆蹟)「山寺にそろひ浴衣の野點かな」(P116) 『墨美』第200号[墨美社]	19本瀧収179	 全126頁
5	(参考)『文士と文壇』(大久保房男著)[講談社] ○「瀧井孝作氏と『身边新緑』」(再録P92～96)	19本瀧収255	 全253頁
9	第63回芥川賞選評「戯畫化小説」(P272) 『文藝春秋』第48巻第10号	20切瀧収053-25	 切り取り
11	俳句19句「冬夏抄」(P258～259) 『心』第23巻第11号[平凡社]	20切瀧収054-17 20切瀧収054-18	
11	随筆「まだ丈夫な私の歯」『朝日新聞』		・11/2夕刊文化欄

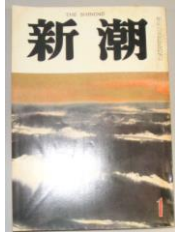
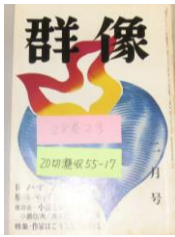
1.62 昭和 46 年

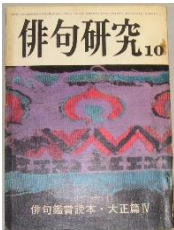
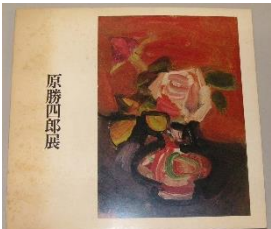
1	『俳人仲間』第2篇「ノンキな店員」(P204～227) 『新潮』第68巻第1号	19本瀧収163(本) 14原115-3図一 瀧(原稿)	 全292頁
---	--	------------------------------------	--

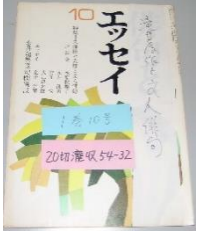
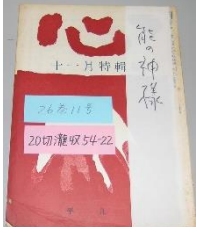
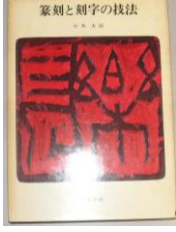
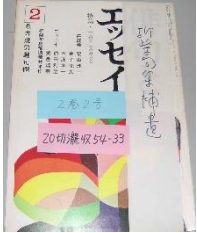
月	「作品名」『書名/掲載誌』[出版社]等	資料番号	資料写真・特記事項
1	短評「芭蕉の句」(P1) 『ちくま』通巻21号[筑摩書房]	20切瀧収054-43	収『志賀さんの生活など』 
2	随筆「朝富士・夕富士」『日本経済新聞』		2/26朝刊、収『志賀さんの生活など』『釣りの楽しみ』
3	第64回芥川賞選評「杏子」を推す」(P291) 『文藝春秋』第49巻第3号	20切瀧収053-26	切り取り 
	「童心」 東京都近県・中学作文コンクール文集『ぶんしゅう』第 11集[八王子高等学校編]	19本瀧収187-3	八王子高等学校の封筒に収納 全86頁 ※書誌に記載なし 
5	俳句5句「春蘭」『小説新潮』		・第25巻第5號
7	小説「鮎つりと老人」(P224～230) 『潮』第141号(7月号) 収『志賀さんの生活など』『釣りの楽しみ』	19本瀧収132 18原瀧収323	全402頁 (原稿)  
7	随筆「ほととぎすの句など」『朝日新聞』		・7/4朝刊俳諧欄、収『志賀さんの生活など』
8	(再)「大火の夜」『東京空襲19人の証言』		・[講談社]、初S21.4『人間』
9	第65回芥川賞選評「不明瞭と饒舌」(P305) 『文藝春秋』第49巻第11号	20切瀧収053-27 20切瀧収053-28	切り取り 
11	「五十年前の思出」『新潮』		・第68巻第12號(創刊800號記念)、収『志賀さんの生活など』
11	俳句17句「枳の實」(P364～365) 『心』第24巻第11号[平凡社]	20切瀧収054-19	
11	アンケート回答「私がもっとも影響を受けた小説」－ 「夜の光」(志賀直哉著) 『文藝春秋』第49巻第16号、臨時増刊 「明治・大正・昭和 日本の作家100人」	19本瀧収142	全172頁 

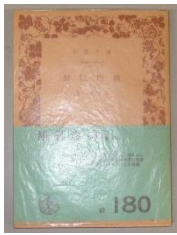
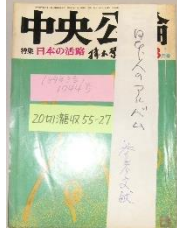
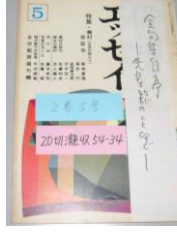
月	「作品名」『書名/掲載誌』[出版社]等	資料番号	資料写真・特記事項
12	「志賀さんの奥さん」(P18～22) 『新潮』第68巻第13号 「特集 志賀直哉追悼」	20切瀧収055-11	 収『志賀さんの生活など』
12	「叱られる」『心』		・第24巻第12号[平凡社]、「志賀直哉追悼特集」、収『志賀さんの生活など』
12	随筆「むかしの思出」『日本文学全集』23		・「武者小路実篤集」月報第3号[集英社]、収『志賀さんの生活など』
1.63 昭和 47 年			
1	『俳人仲間』序篇「碧梧桐のことなどー『明治俳壇埋蔵資料』からー」(P268～294) 『新潮』第69巻第1号	19本瀧収135 14原115-1図-瀧	 全324頁 (原稿) 
1	「志賀さんの書」(P220～224) 『群像』第27巻第1号[講談社]	19本瀧収116	 全364頁 収『志賀さんの生活など』
1	随筆「市谷加賀町訪問-梅原龍三郎さんのこと」『東京新聞』		・1/12夕刊文化欄、収『志賀さんの生活など』
1	随筆「足柄海館訪問-中川一政さんのこと」『東京新聞』		・1/13-14夕刊文化欄、収『志賀さんの生活など』
2	「選評に同感」 東京都近県・中学作文コンクール文集『ぶんしゅう』第12集[八王子高等学校編]	19本瀧収187-4	 八王子高等学校の封筒に収納 全82頁 ※書誌に記載なし
2	俳句8句「椿咲く」(P83) 『文藝春秋』第50巻第2号	20切瀧収055-5	 第284号[三彩社]、収『志賀さんの生活など』
2	「書文一致」『三彩』		・第284号[三彩社]、収『志賀さんの生活など』
3	第66回芥川賞選評「李恢成と秦恒平」(P316) 『文藝春秋』第50巻第3号	20切瀧収053-29	 切り取り

月	「作品名」『書名/掲載誌』[出版社]等	資料番号	資料写真・特記事項
3	『明治俳壇埋蔵資料』[序](P1～41) [大学堂書店]	20本瀧収043	 全550頁序41頁
3	(再)「 畫文一致 」『中川一政展』[吉井画廊] 吉井画廊新館で開催された展覧会(会期S47.3.21～ 4.10)の画集。	19本瀧収231	
7	俳句14句「夏花抄」(P286～287) 『心』第25巻第7号[平凡社]	20切瀧収054-20	
7	(再)「 鮎釣り入門記 」『新編・人生の本』(10)		・[文藝春秋]
8	(参考)『文壇句会今昔－東門居句手帖－』(永井龍男 20本瀧収021 著)[文藝春秋] ○瀧井に関する記述・瀧井の俳句引用あり。		全252頁 
9	第67回芥川賞選評「素朴と技巧」(P340) 『文藝春秋』第50巻第11号	20切瀧収053-30	切り取り 
11	随筆「 風信 」『東京新聞』		・10/11タ刊文化欄、収『志賀さんの生活など』
11	アンケート「私にとって明治とは何であったか」回答－ 「型破り」(P125) 『文藝春秋』第50巻第15号 臨時増刊号(「坂の上の 雲」と日露戦争)	19本瀧収141	全204頁 
12	「無限抱擁」「結婚まで」「慾呆け」「積雪」「父祖の形 見」「伐り禿山」「高山の朝市」「珍至梅」「庭ナナカマ ド」「白黄の石榴の花」「自選孝作百五十句」(P1～137) 『現代日本文学大系』48(瀧井孝作・網野菊・藤枝静男集)[筑摩書房] (参考)「瀧井孝作」(山本健吉著)、「瀧井孝作論」(古木鐵太郎著)、「瀧井 孝作年譜」(保昌正夫編)「瀧井孝作著作目録」(保昌作成)、付録 月報 79(S47.12)「瀧井孝作先生の肖像」(齋藤正二著)、「瀧井・網野・藤枝 研 究案内」(紅野敏郎著)	18本瀧収018 19本瀧収091	全420頁 

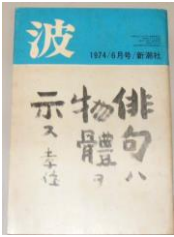
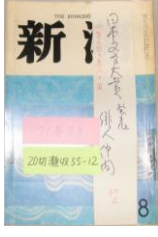
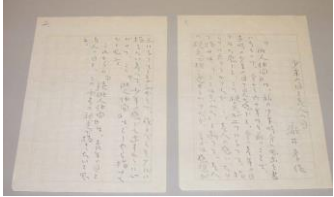
月	「作品名」『書名/掲載誌』[出版社]等	資料番号	資料写真・特記事項
12	(再)「浮寝鳥」(P57～66) 『現代俳句大系』第5巻(昭和17年～21年)[角川書店] (参考)「解説『浮寝鳥』」(安住敦著)	19本瀧収092	  全447頁
1.64 昭和 48 年			
1	『俳人仲間』第3篇「初めての女」(P174～222) 『新潮』第70巻第1号	19本瀧収164 14原115-4図-瀧(原稿)	  (原稿) (冊子)全356頁
1	俳句17句「石榴」(P108～109) 『心』第26巻第1号[平凡社]	20切瀧収054-21	
2	(参考)『群像』第28巻第2号[講談社] ○「第309回創作合評」(「初めての女」(瀧井著)の書評 出席 平野謙・藤枝静男・川村二郎)(P274～284)	20切瀧収055-17	
3	「風景は好き」 東京都近県・中学作文コンクール文集『ぶんしゅう』第13集[八王子高等学校]	19本瀧収187-5	 八王子高等学校の封筒に収納 全84頁 ※書誌に記載なし
3	第68回芥川賞選評「戦争悪」(P345) 『文藝春秋』第51巻第4号	20切瀧収053-31	 切り取り
5	『俳人仲間』第4篇「出郷」(P142～206) 『新潮』第70巻第5号	19本瀧収165 14原115-5図-瀧(原稿)	  (冊子) (原稿)全324頁

月	「作品名」『書名/掲載誌』『出版社』等	資料番号	資料写真・特記事項
5	「志賀直哉宛書簡」(瀧井より志賀宛の書簡)(P44～45) 『図書』第285号(「志賀直哉特集号」)[岩波書店]	19本瀧収154	 全20頁
5	随筆「志賀さんの生活」『東京新聞』	14原120-1図-瀧 14原120-13図-瀧	・5/22～6/11 夕刊文化欄(全13回)(写真なし)、収『志賀さんの生活など』
8	「無限抱擁」「邦男と二宮と」「彼の周囲」「責任自殺」 「松島秋色」 『日本文学全集』36(瀧井孝作/尾崎一雄)[集英社] (参考)月報43(1973.8)「沈静な人」(吉岡達夫著)、「瀧井さんの日常」(小町谷照彦著)	18本瀧収017 19本瀧収085-2	 19本 瀧収 085-1 の改裝版 全459頁
9	第69回芥川賞選評「小説の脊骨」 『文藝春秋』第51巻第13号	20切瀧収053-32	 切り取り
9	「瀧井孝作・沢田大暁・小木太法 座談会」(座談会開催 日1971.7.8) 『制作は発見也 瀧井孝作先生と書』(独立書人団会 報29号(S48.8.15)からの別刷)	18本瀧収075	 全11頁 初および本書送付について著者の書き 込みあり
10	長編小説『俳人仲間』刊行 [新潮社] ◆「序篇 碧梧桐のことなど」「第一篇 飛騨高山にて」「第二篇 ノンキ な店員」「第三篇 初めての女」「第四篇 出郷」/後記	18本瀧収035 19本瀧展040	 全317頁、A5判 H19展示中 (日本文学大賞 受賞)
10	河東碧梧桐著(復刻)『三千里』-序「書生の心持」 [講談社] ※折柴についての記述あり。(P131)	20本瀧展045	 講談社刊『続三千里』 (T3.1刊)の復刊。 H20展示中
10	(参考)『俳句研究』第40巻10号 [俳句研究社] ○「特集・解釈と鑑賞」(「懷爐の灰をあげぎまの靴でふ む人だった」(折柴)についての評釈。杉山青磁・瓜生敏 一・橋本健三・日下部正治・片山花御史・磯貝碧蹄 館著)(P98～100)	19本瀧収128	 全221頁
10	(参考)画集『原勝四郎展』[原勝四郎展委員会] 会期 S48.10.6～28 会場 神奈川県立近代美術館 ○瀧井に関する記述あり。	19本瀧収253	 原勝四郎はS39年没、享年 78歳。瀧井はS29年の原勝 四郎小品展案内状(葉書) に「好きな画家」という文を 書いている。

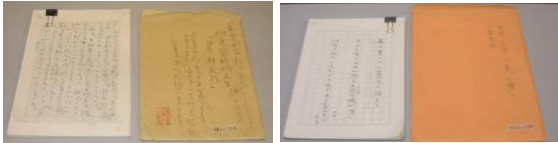
月	「作品名」『書名/掲載誌』[出版社]等	資料番号	資料写真・特記事項
10	(参考)『俳句とエッセイ』第1巻第10号[牧羊社] ○「瀧井孝作氏と「文人俳句」」(齋藤正二著)(P84～89)	20切瀧収054-32	
10	(参考)『波』第7巻第10号 通巻45号[新潮社] ○「古い町が確かな輪廓をもって迫る 瀧井孝作著『俳人仲間』」(書評 高井有一著)(P29～30)	20切瀧収055-26	
11	随筆「能の神様」(P316～317) 『心』第26巻第11号[平凡社]	20切瀧収054-22	 収『志賀さんの生活など』『巖に咲く花』
11	随筆「篆刻と友だち」(P5～6) 『篆刻と刻字の技法』[理工学社]	19本瀧収166	
1.65 昭和 49 年			
1	「続俳人仲間-第一篇 大阪の夢」『新潮』	・第71巻第1号	
1	俳句論「俳句ハ物體ヲ示ス」芭蕉の句私解『読売新聞』	・1/3朝刊文化欄	
1	「強い作文三つ」 東京都近県・中学作文コンクール文集『ぶんしゅう』第14集[八王子高等学校編]	19本瀧収187-6	 八王子高等学校の封筒に収納 全102頁 ※書誌に記載なし
1	(参考)『群像』第29巻第1号[講談社] ○「現代小説における「過去形」」(佐伯彰一著)、「雄勁な骨格を持つ 瀧井孝作『俳人仲間』」(島村利正著)(P292～294)	20切瀧収055-18	
2	俳句23句「折柴句集補遺」(P12～16) 『俳句とエッセイ』第2巻第2号[牧羊社]	20切瀧収054-33	

月	「作品名」『書名/掲載誌』[出版社]等	資料番号	資料写真・特記事項
2	『無限抱擁』[岩波文庫]	18本瀧収019 18本瀧収350	 表紙見返しに瀧井自筆署名あり(ペン書き)「おねをひろげて汗なき胸隔 大正六年夏の句 孝作」(18本瀧収350)※書誌に記載なし
3	第70回芥川賞選評「初心尊重」(P312～313) 『文藝春秋』第52巻第4号	20切瀧収053-33	 切り取り
3	巻頭に瀧井のことば 「日本人のアルバム21 瀧井孝作」 『中央公論』第89年第3号	20切瀧収055-27	
4	「寫生文の可能性—「俳人仲間」をめぐる—」(江藤淳との対談)(P128～146) 『海』第6巻第4号[中央公論社]	20切瀧収054-27	
5	『瀧井孝作全句集』自序—先輩などのことなど— (P64～72) 『俳句とエッセイ』第2巻第5号[牧羊社] 初S16.8『折柴句集』自序	20切瀧収054-34	
5	『無限抱擁』『結婚まで』『慾呆け』『積雪』『伐り禿山』『野趣』 『日本の文学』36(瀧井孝作・梶井基次郎・中島敦)		・[中央公論社]、S43.4『日本の文学』の軽装普及版
5	随筆集『志賀さんの生活など』刊行 [新潮社]	18本瀧収383 19本瀧展041	 表紙見返し遊び紙に瀧井の自筆署名あり(ペン書き) 全353頁 四六判 H19展示中

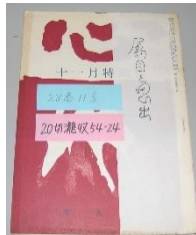
◆志賀さんの生活(「一、未発表短篇の名作」「二、我孫子にて・A」「三、我孫子にて・B」「四、我孫子にて・C」「五、京都にて」「六、『座右宝』のこと」「七、京都・奈良の住居」「八、奈良にて」「九、奈良の日常」「十、奈良にて遊ぶ」「十一、東京熱海・戦中戦後」「十二、渋谷にての晩年」「十三、目をかけられた人達)」「志賀さんの奥さん」「志賀さんの書」「叱られる」「装幀のことなど」「志賀直哉ベスト・スリー」「志賀さんの作品」「東府会のこと」「さはやかな味」「夜の光」「風信」「未発表原稿を読む」「未発表日記の校訂をして」／「雑感」「むかしの思出」「廣津さんを惜む」「本郷時代」「市谷加賀町訪問」「足柄海館訪問」「画文一致」「世阿彌の「求塚」と漱石の「心」」「居直つた強さ」「五十年前の思出」／「型破り」「書生の心持」「碧梧桐先生の書」「波郷の俳句」「芭蕉の句」「ほととぎすの句など」「精一杯生きた人」「俳句ハ物体ヲ示ス」「秘曲“サギ”」「能の神様」「『喜多流・声の名曲集』推薦」「決して昔に劣らない／天然アユ・放流アユ」「アユつりの魅力」「一本橋」「朝富士・夕富士」／「初舞台」「鮎つりと老人」「福田家の人達」／「芥川賞選評『第一回～七十回』」「芥川賞の作家たち」「芥川賞委員三十年」「世相の険悪」「文章雑談」／あとがき。

月	「作品名」『書名/掲載誌』[出版社]等	資料番号	資料写真・特記事項
6	表紙に瀧井の書「俳句ハ物體ヲ示ス」 『波』第8巻第6號[新潮社]	19本瀧収257	全64頁 
7	「トクサの庭―八王子日記」(P32～56) 『海』第6巻第7號[中央公論社]	19本瀧収120	全328頁 
8	受賞の言葉「少年の目と老人の目」(P185) 『新潮』第71巻第8號 (参考)「日本文学大賞の発表記事(『俳人仲間』が受賞)(P184)、「見事な結晶」(武田泰淳著 選評)	20切瀧収055-12 (本) 14原116図一瀧 (原稿)	 
8	(参考)『群像』第29巻第8號[講談社] ○「論争始末」(「トクサの庭」(瀧井孝作)についての書評)(上田三四二著)(P13)	20切瀧収055-19	
8	(参考)『海』8月號 通巻第64號[中央公論社] ○「《作家訪問記》(1)瀧井孝作」	20切瀧収055-28	
9	第71回芥川賞選評「人葉物語」(P371) 『文藝春秋』第52巻第10號	20切瀧収053-34	切り取り 
9	(再)俳句1句「青桐」『週刊新潮』	・第19巻第38號	
10	俳句16句「鹿の子百合」(P108～109) 『心』第27巻第10號[平凡社]	20切瀧収054-23	
11	『瀧井孝作全句集』刊行[牧羊社]	18本瀧収026 19本瀧収042	特装版350部 

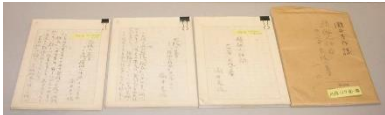
◆自序／「折柴句集 577句」「折柴句集補遺 23句」「浮寝鳥 200句」
「雲間の菜 77句」「海ほぼづき 200句」「海ほぼづき以後 265句」

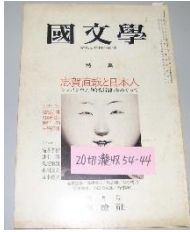
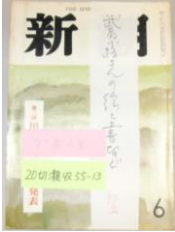
月	「作品名」『書名/掲載誌』[出版社]等	資料番号	資料写真・特記事項
	(参考)付録 パンフレット(P8)。「瀧井孝作氏の文学の源」(山本 健吉著)、「『瀧井孝作全句集』に寄せる」(江藤 淳著)、「瀧井さんの字」(中川 一政著)。		 限定版1000部
12	随筆「ケヤキ冬木」『朝日新聞』		・12/28夕刊文化欄
12	(参考)『日本文学365日』上(講談社現代新書375) (板坂元著)[講談社] ○「6.17『俳人仲間』飛騨を飛び出す少年」(P184)	19本瀧収239	 全197頁
1.66 昭和 50 年			
1	「白い障子」(P242～250) 『新潮』第72巻第1號	19本瀧収134	 全356頁
1	俳句5句「山茶花」『小説新潮』		・第29巻第1號
1	「碧梧桐および碧梧桐以後」(座談会 出席 瀧井孝作・ 20切瀧収054-35 山本健吉・齋藤正二)、「新春色紙筆墨集」(瀧井の色紙 1枚)(P32～54) 『俳句とエッセイ』第3巻第1號[牧羊社]		
2	解説「處女作「父」の回想」『人間』復刻別冊「解説」		・[日本近代文学館]
3	第72回芥川賞選評「凝視小説」(P362) 『文藝春秋』第53巻第3號	20切瀧収053-35	 切り取り
3	『俳人仲間』刊行 [新潮社]	18本瀧収385	 秩入り、外箱入り。 遊び紙見返しに瀧井自筆署名あり ※書誌に記載なし
5	句集『山桜』刊行 (限定版・自薦自筆)[講談社] 明治42年～昭和49年の句作442句	14原119-1図-瀧 14原119-2図-瀧 18本瀧収357 19本瀧収044	 (下書き1) (下書き2)
			 はしがき7頁+ 本文150頁 B6倍判 限定700部 和装本

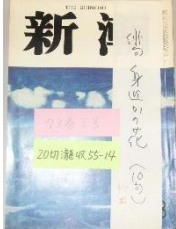
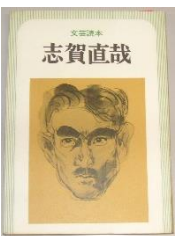
月	「作品名」『書名/掲載誌』『出版社]等	資料番号	資料写真・特記事項
6	『山茶花―自選短編十種―』刊行 [大和書房]	18本瀧収353 19本瀧収045	付録 パンフレット(8頁)。A5判、全382頁
◆「父」「弾力のある氣持」「結婚まで」「暑い日」「慾保け」「山女魚」「積雪」「父祖の形見」「伐り禿山」「戦場風景」／あとがき (参考)「解説 独特の文体と素朴な情感―瀧井孝作 自選小説集『山茶花』解説―」(島崎 利正著)			
6	釣随筆集『釣りの楽しみ』刊行 (釣魚名著シリーズ)[二見書房]	18本瀧収023 18本瀧収355 19本瀧収047	本文315頁 B6判
◆「鮎釣入門記」「鮎釣日記」「美しい鮎」「山女釣」「鮎の沈み釣」「鮎釣風景」「道流杭のカイツ釣」「不漁の記」「冬のつり」「鮎解禁日」「擬餌針」「気多川と天竜川」「飛騨高山の今昔」「今年の鮎」「私の釣った魚」「馬瀬川のアユの味」「アユの友釣風景」「年魚・香魚・四」「釣場の風景」「天然アユ・放流アユ」「東府会の事」「スミイカ釣」「釣の味はひ」「上質の鮎」「ヤマメつり」「春の鯛釣」「アユつりの魅力」「今年の馬瀬川」「初釣」「朝富士・夕富士」／「山中釣遊」「山女魚」「子供と魚釣」「伐り禿山」「釣友達」「奇禍」「道志川」「鮎つりと老人」「釣の俳句抄」／あとがき			
6	『無限抱擁』刊行 [新潮文庫]	18本瀧収351	表題紙裏に瀧井の自筆署名あり(ペン書き) ※書誌に記載なし
6	(参考)『文藝春秋』別冊 芥川賞直木賞40周年記念号 20切瀧収055-6 132特別号[文藝春秋] ○「選後評にみる芥川賞・直木賞の40年」(山本容朗著)(P399～408)		
8	「近詠と自注―鮎の友づり」『毎日新聞』		・8/9朝刊歌壇俳壇欄
8	『山茶花 自選短篇十種』特装版刊行 [大和書房]	19本瀧収046	19本 瀧収 045 の特装版 限定150部 菊判
9	(参考)文壇資料『田端文士村』(近藤富枝著)[講談社] 20本瀧収012 ○「第5章 作家たち「無限抱擁」」(P90～96)		全268頁
9	第73回芥川賞選評「冴えた筆」(P344～345) 『文藝春秋』第53巻第9号	20切瀧収053-36	切り取り

月	「作品名」『書名/掲載誌』[出版社]等	資料番号	資料写真・特記事項
10	推薦文「天賦の賜物」『正岡子規遺墨』[求龍堂]	18切瀧収346-2	 (自筆原稿) 原稿用紙2枚
10	(再)「わたくしごと」「白い障子」「鮎の友づり」 『孝作』(記念誌)[八王子市] [瀧井孝作展]開催 会期 S50.10.9～14 開場 八王子大丸 主催 八王子市	18本瀧収363 19本瀧収204	 非売品
11	(参考)『現代の作家101人』(百目鬼恭三郎著)[新潮社] ○「瀧井孝作」(P121～123)	20本瀧収035	 全218頁
11	俳句17句「属目と思出」(P312～313) 『心』第28巻第11号[平凡社]	20切瀧収054-24	
11	自選隨筆集『かのこ百合』刊行 [大和書房]	18本瀧収384 19本瀧収048	 全367頁
◆「安房山越へ」「芭蕉の墓」「京都南座二月狂言」「観心寺の秘佛」「井戸」「尤三姐」「夢」「世間」「フィリッポの小説」「室生寺の秋」「志賀直哉対談日誌」「文学的自叙伝」「ゲテモノ雑記」「曲技飛行」「子供と共に」「カヤの実」「子猫」「民芸館の宵一琉球の踊ー」「玉のやうな画」「鑑賞の年季」「『鬼火』評」「人物素描-川端康成氏-」「志賀さんの文学-此頃の問題に付いて-」「みなもと近く」「灯蛾」「『名人』解説」「風景小説」「芥川さんの墓」「生のまま素のまま」「寝袋」「荷風管見」「春慶塗のこたつ」「靈感(インスピレーション)の宝庫ー谷崎松子夫人ー」「制作は発見なり」「八王子小品ーオハラヒの風景・ダルマ市ー」「街路樹」「行摩りのひと」「秋萩帖の歌」「生生撥刺した作品」「古拙微笑の美術」／あとがき			

1.67 昭和 51 年

1	「続俳人仲間」の第1編(承前)「大阪の夢」 『新潮』第73巻第1号	14原117図一瀧	 (原稿のみ)
1	俳句1句「羽子板」『ウィークリー大丸』		・第104号[八王子大丸]、自筆(クレヨン)
1	インタビュー「體當りの文學」『岐阜日日新聞』		・1/5～2/16朝刊、全7回
1	(再)「制作は発見なり」「無限抱擁」『わが小説』		・[朝日新聞学芸部]、初S37.5.24『朝日新聞』
2	自選隨筆集『かのこ百合』特装版刊行 [大和書房]	19本瀧収049 21本瀧展171	 19本瀧収048の 特装版 限定150部

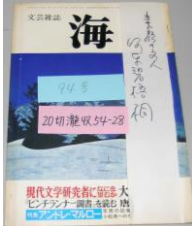
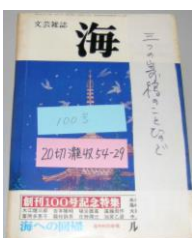
月	「作品名」『書名/掲載誌』[出版社]等	資料番号	資料写真・特記事項
3	第74回芥川賞選評「岡松君の充實味」(P343～344) 『文藝春秋』第54巻第3号	20切瀧収053-37	 切り取り
3	俳句1句「鯉のぼり」『ウィークリーだいまる』		第116号[ハ王子大丸]、自筆(クレヨン)
3	「志賀さんの聲」(P100～105) 『国文学』第21巻第4号「特集 志賀直哉と日本人」[学燈社]	20切瀧収054-44	
3	(参考)『駒場野』27号[東京都近代文学博物館] ○「瀧井孝作と俳句雑誌『紙衣』」(石川早苗著)(P13～22)	20本瀧収050	
5	「無限抱擁」「慾保け」「積雪」「父祖の形見」 『日本文学全集』31(瀧井孝作／尾崎一雄／上林 暁)[筑摩書房]	18本瀧収359	 表紙見返し遊び紙 に自筆署名あり(ペン書き) ※書誌に記載なし
6	「武者小路さんの絵と書など」(P191～195) 『新潮』第73巻第6号	20切瀧収055-13 (本) 18原瀧収325 (原稿)	 23枚＋白紙1枚(原稿)
6	俳句1句「菜の花」、「年始」「鏡餅」「ダリヤ」「蛸」「赤 蜻蛉」「冬日和」「大根」各1句、「私の愛用する一句」 『文藝春秋デラックス』第3巻第6号「目で見る歳時記 日本の四季」[文藝春秋]	19本瀧収143	 全270頁
6	推薦文「佳作現れる」(自筆原稿) 画集『蔵沢墨竹』[求龍堂]	18切瀧収346-3	 原稿用紙3枚
7	「いろいろのこと」(P23～27) 『心』第29巻第7号「武者小路実篤追悼號」[平凡社] 「座談会・武者小路実篤を偲ぶ」(出席 河盛好蔵・瀧 井孝作・尾崎一雄・網野 菊)(P37～53)	19本瀧収127 20切瀧収054-25	 全216頁

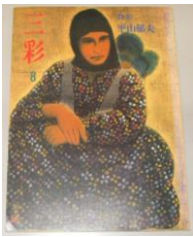
月	「作品名」『書名/掲載誌』[出版社]等	資料番号	資料写真・特記事項
7	小説集『野趣』刊行 [大和書房]	18本瀧収354 19本瀧収050	全297頁 限定版150部
	◆「野趣」「青萼の梅」「道志川」「逝く春」「奇禍」「Kの思出」「流行と信用」「松島秋色」「山の姿」「釣友達」「純潔」「身辺新緑」／あとがき		
8	俳句10句「身近かの花」(P168) 『新潮』第73巻第8號	20切瀧収055-14	
8	(再)「松島秋色」「飛騨の風景」「安房山越え」『現代日本紀行文学全集』		・「北日本篇」「中部日本篇」「山岳篇(下)」, [ほるぷ社] S33年修道社の再刊
8	「芥川さんの置土産」(P272～275) 『文藝春秋』第54巻第8號	20切瀧収055-7	※書誌に記載なし 
9	第75回芥川賞選評「若者の才気」(P384) 『文藝春秋』第54巻第9號	20切瀧収053-38	切り取り 
9	「美しい大和の寺々」(P30～32) 『図書』第325號[岩波書店]	20切瀧収054-45	
9	(再)「我孫子にて・A」(P159～161) 『文藝読本 志賀直哉』[河出書房新社]	19本瀧収161	全263頁 
9	俳句論「俳句と寫生」(P6～9) 別冊『太陽』No.16(俳句)[平凡社]	19本瀧収178	全196頁 
10	インタビュー「現代文学とことば」10 瀧井孝作(聞き手 中村明)(P64～73) 『言語生活』第301號[筑摩書房]	19本瀧収129 20切瀧収054-46	全112頁 

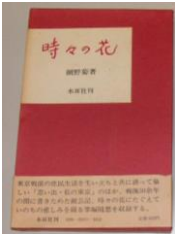
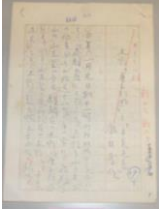
月	「作品名」『書名/掲載誌』[出版社]等	資料番号	資料写真・特記事項
10	「志賀直哉－「暗夜行路」の世界－」(座談会 出演 瀧井孝作・本多秋五・阿川弘之・紅野敏郎・志賀直吉・山中逸洋)(P7～20) 『解釋』第22巻第10号[教育出版センター] ※S48.12.5NHKテレビ放送を再現	19本瀧収130	 「志賀直哉月報総覧(増補)」(三ツ木照夫著)に記載の「長日月」(瀧井著)について、瀧井の筆にて「記憶なし」(62頁)。これについて、瀧井より津田宛の調査依頼の手紙(B5原稿用紙1枚、鉛筆書き)が挿込 全80頁
10	随筆「志賀直哉遺愛の能面」『朝日新聞』		・10/5夕刊文化欄
10	(参考)『わが俳句交遊記』(車谷弘著)[角川書店] ○瀧井についての記述あり。	20本瀧収044	 全285頁
11	俳句15句「花火など」(P204～205) 『心』第29巻第11号[平凡社]	20切瀧収054-26	 全298頁
11	(参考)『中塚一碧樓研究』(尾崎龍夫著)[海紅同人句録社] ○瀧井についての記述あり	19本瀧収250	 全267頁 索引18頁
-	(参考)『物語大正文壇史』(巖谷大四著)[文藝春秋] ○瀧井についての記述あり。	20本瀧収030	 全329頁
12	能随筆集『巖に咲く花』刊行 [求龍堂] ◆「節分」「京都南座二月狂言」「謡のけいこ」「夢」「狂言の写実」「初舞台」「『演能手記』読後」「仮舞台の能」「民芸館の宵」「能面挿話」「松島秋色」「喜多六平太翁」「狂言「釣狐」」「秘曲「サギ」」「能のけいこを見る」「八十翁の能」「古い能面について」「大会(能)」「狂言の面白味」「川崎九淵讀」「『狂言記』礼讀」「リアルな能面」「すぐれた水墨画」「決して昔に劣らない」「狂言の中の歌謡」「狂言の小舞」「能の話」「佐渡の能面」「古拙微笑の美術」「世阿彌の「求塚」と漱石の「心」」「『喜多流・声の名曲集』推薦」「能の神様」「六平太翁の謡曲のレコード」「志賀直哉の遺愛の能面」「染井の能楽堂」／あとがき	18本瀧収356 19本瀧収051	 全64頁

1. 68 昭和 52 年

- | | | | |
|---|-----------------------------------|----------|--|
| 1 | 「久しぶりの岐阜」(P9～11)
『濃飛人』[岐阜県人協会] | 19本瀧収147 | 
全64頁 |
|---|-----------------------------------|----------|--|

月	「作品名」『書名/掲載誌』[出版社]等	資料番号	資料写真・特記事項
2	「素顔の文人河東碧梧桐」(P134～147) 『海』94号[中央公論社]	20切瀧収054-28 14原125-2図- 瀧(原稿)	 
3	能随筆集『巖に咲く花』特装版[求龍堂] ※S51.12(19本瀧収051)の特装版	19本瀧収052-1 19本瀧展052-2	 限定150部 H19展示中
3	第76回芥川賞選評「寺久保氏と金鶴泳氏と」(P407～ 408) 『文藝春秋』第55巻第3号	20切瀧収053-39	 切り取り
4	釣随筆集『釣の楽しみ』特装版[二見書房] ※S50.6(19本瀧収047)に随筆「鮎の友づり」と俳句8句を 加えた特装版。特装豪華本。	18本瀧収024 19本瀧展053	 全333頁 限定222部 H19展示中
4	「唐子群遊」「手長足長」(P69～73) 『芸術新潮』第29巻第4号[新潮社]	19本瀧収139	 全227頁
6	『瀧井孝作全句集』自筆俳句付[講談社] ◆「自序」「折柴句集 577句」「折柴句集補遺 23句」「浮寝鳥 200句」 「雲間の菜 77句」「海ほぼづき 200句」「海ほぼづき・以後 265句」「傘 寿以後 61句」「瀧井孝作年譜」／あとがき ※S42.11牧羊社刊の全句集(19本瀧収042)に61句を加 えた和装特装版。	19本瀧収054	 全166頁。畳紙入 り自筆俳句付き。 限定150部
7	「新道繁さんの画室訪問」 『新道繁展』画集[吉井画廊] 会期S52.7.7～7.23	19本瀧収140	
8	「三つの寄稿の事など」(P250～252) 『海』100号[中央公論社]	20切瀧収054-29	

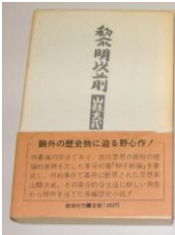
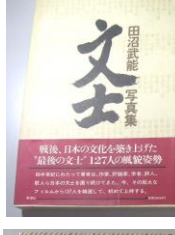
月	「作品名」『書名/掲載誌』[出版社]等	資料番号	資料写真・特記事項
8	「新道繁さんの画室訪問」(P30～33) 『三彩』360号 [三彩社]	19本瀧収216	 全90頁
8	句集「初心」の序		
8	『瀧井孝作文学書誌』(限定版) [永田書房]	18本瀧収361	 限定版500部
9	『瀧井孝作文学書誌』(特別限定版) [永田書房]	18本瀧収362	 特別限定版500部
9	「無限抱擁」『昭和文学』上		
9	(参考)『俳句』第26巻第10号「現代俳句事典」[角川書店] OP206に瀧井についての記述あり	19本瀧収259	 全466頁
9	「初めての書の個展」(P78～80) 第77回芥川賞選評「短篇を望む」(P378～379) 『文藝春秋』第55巻第9号	20切瀧収053-40	 切り取り
12	(参考)『作家の文体』[筑摩書房] ○「実感 瀧井孝作」(対談 聞き手 中村明 P153～172)、「現代作家の文体と言語意識」(中村明著 P261～355)	19本瀧収212	 全355頁
1. 69 昭和 53 年			
1	(参考)『潮』10月号 通巻第233号[潮出版] ○巻頭「人と道」に瀧井の写真	20切瀧収055-29	

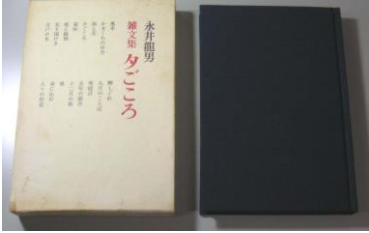
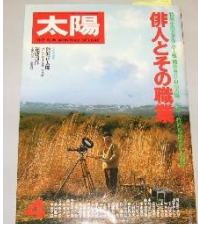
月	「作品名」『書名/掲載誌』[出版社]等	資料番号	資料写真・特記事項
3	「はしがき」(瀧井著) 随筆集『時々の花』(網野菊著)[木耳社]	19本瀧収170	  全266頁
3	第78回芥川賞選評「山村奇話」(P366～367) 『文藝春秋』第56巻第3号	20切瀧収053-41	 複写1部 切り取り
4	木彫「唐子群遊」と「手長足長」 『週刊文春』掲載	14原124-1図一瀧 14原124-2図一瀧	  原稿及び掲載誌 のコピー
5	(参考)新訂『小林秀雄全集』第1巻「様々なる意匠」 (小林秀雄著)[新潮社] ○(再)「アシルと亀の子Ⅲ 瀧井孝作と牧野信一」(P49 ～55)	20本瀧収011	  全342頁
5	(参考)『瓦板 昭和文壇史』(巖谷大四著)[時事通信社] ○瀧井についての記述あり	20本瀧収038	 全346頁
7	俳句63句「相聞の俳句など」(P222～232) 『海』第10巻第7号[中央公論社]	19本瀧収119	 全328頁
8	(参考)『奈落の作者』(桜井均著)[文治堂書店] ○瀧井と釣についての記述あり。	20本瀧収022	 全297頁
9	『瀧井孝作全集』第1巻[中央公論社] 「小説1 無限抱擁 他12編」	18本瀧収371	 

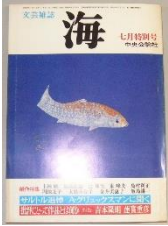
月	「作品名」『書名/掲載誌』[出版社]等	資料番号	資料写真・特記事項
9	(参考)『明治俳壇史』(村山古郷著) ○瀧井に関する記述あり。	20本瀧収041	 全366頁
9	第79回芥川賞選評「うまい短篇」(P380) 『文藝春秋』第56巻第9号	20切瀧収053-42	 切り取り
10	「徐渭の水墨画」(P8～9) 季刊『水墨画』No.6(「羊の描法」)[日貿出版社]	19本瀧収180	 全88頁
10	「グラフィア人と道」『潮』[潮出版社]		
10	『瀧井孝作全集 第2巻』[中央公論社] 「小説2 チョ子の自由 他26編」	18本瀧収372	
10	「無限抱擁」「慾呆け」「積雪」「父祖の形見」「曲技飛行」「朴の葉」「伐り禿山」「身辺新緑」「山の姿」「道志川」「野趣」「ノンキな店員」(P3～238) 『筑摩現代文学大系 30』(瀧井孝作・上林暁集)[筑摩書房] (参考)「瀧井孝作年譜」(保昌正夫編)、「人と文学」(浅見淵著)。月報84(1978.10)挿込。「瀧井先生」(秦恒平著)、「瀧井先生の印象」(饗庭節著)、「参考文献」。	19本瀧収093	 (19本 瀧収082)の増補再刊。 全499頁
11	『瀧井孝作全集 第3巻』[中央公論社] 「小説3 偶感 他26編」	18本瀧収373	
11	グラフィア(「シリーズ日本人」 写真とブロック塀についての瀧井の文 『中央公論』第93年11号[中央公論社])	20切瀧収054-47	

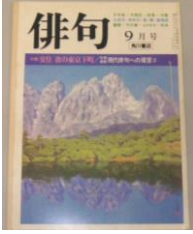
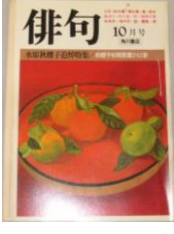
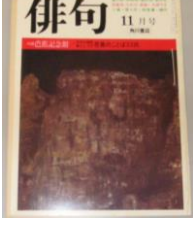
月	「作品名」『書名/掲載誌』[出版社]等	資料番号	資料写真・特記事項
12	「飛騨高山の今昔-ふるさとを語る-」(P2～6) 『濃飛人』通巻402号[岐阜県人協会]	19本瀧収219	 全32頁
12	『瀧井孝作全集 第4巻』[中央公論社] 「小説4 積雪 他19編」	18本瀧収374	
1. 70 昭和 54 年			
1	対談「芥川賞と作家たち」(島村利正と)(P162～173) 『潮』第236号[潮出版]	20切瀧収054-48	
1	『瀧井孝作全集 第5巻』[中央公論社] 「小説5 逝く春 他6編」	18本瀧収375	
2	『瀧井孝作全集 第6巻』[中央公論社] 「随筆1 回想の高山 他87編」	18本瀧収376	
2	作家の風貌の頁に瀧井の顔写真掲載(P45) 『銀座百点』第291号[銀座百点会]	19本瀧収260	 全78頁
3	『瀧井孝作全集 第7巻』[中央公論社] 「随筆2 文芸時評 他91編」	18本瀧収377	

月	「作品名」『書名/掲載誌』[出版社]等	資料番号	資料写真・特記事項
3	第80回芥川賞選評「青野聰君を推す」(P390) 『文藝春秋』第57巻第3號	20切瀧収053-43	切り取り 
4	『瀧井孝作全集 第8巻』[中央公論社] 「随筆3 喜多川と天竜川 他87編」	18本瀧収378	
5	『瀧井孝作全集 第9巻』[中央公論社] 「随筆4 天然アユ・放流アユ 他101編」	18本瀧収379	
6	『瀧井孝作全集 第10巻』[中央公論社] 「随筆5 能の話 他96編」	18本瀧収380	
6	「初の芥川賞」(第1回の選評の再録)(P20) 『文藝春秋』第57巻第6號「昭和史の80選」	20切瀧収055-8	
6	瀧井の俳句58句(P124～127) 『明治・大正・昭和 自由律俳句作品史』[永田書房]	19本瀧収214	 全443頁
7	「牡丹漫筆」(P15～19) 『海』123號[中央公論社]	20切瀧収054-30	
7	「句集『初心』の序」(P1～4) 『初心 奥田杏牛句集』(「鶴叢社 第110篇」)[神無書房]	19本瀧収171	 全213頁

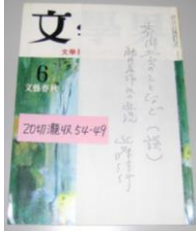
月	「作品名」『書名/掲載誌』[出版社]等	資料番号	資料写真・特記事項
7	『黎明以前』の序(P1～8) 『黎明以前－山縣大貳－』(石井計記著)[緑地社]	19本瀧収172	  全276頁
7	『瀧井孝作全集 第11巻』[中央公論社] 「俳句・雑纂 折柴句集 他85編」	18本瀧収381	 
8	対談「芥川賞と作家たち」(聞き手 島村利正)(再)(P22 19本瀧収236～37) 『芥川賞の研究』－芥川賞のウラオモチ[日本ジャーナリスト専門学院出版部]		 全305頁
8	(参考)増補改訂『戦後日本文学史・年表』(松原新一／磯田光一／秋山駿著)[講談社] ○「第六節 私小説の水脈と変容」(瀧井について記述あり。磯田著)(P331～334)	20本瀧収018	 全529頁 索引39頁
9	第81回芥川賞選評「青野聰君を推す」(P378) 『文藝春秋』第57巻第9號	20切瀧収053-44	 切り取り
10	(参考)写真集『文士』(田沼武能著)[新潮社] ○S30年の瀧井の写真。「撮影雑記帳 45 瀧井孝作」(P152)	20本瀧収048	  全181頁
11	(参考)『現代文壇人国記』(巖谷大四著)[集英社] ○81頁に瀧井に関する記述あり。	20本瀧収009	 全285頁
12	『瀧井孝作全集』別巻 [中央公論社] 「年譜・書誌」	18本瀧収382	 

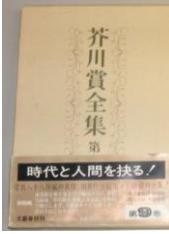
月	「作品名」『書名/掲載誌』[出版社]等	資料番号	資料写真・特記事項
1. 71	昭和 55 年		
1	(参考)雑文集『タごころ』(永井龍男著)[講談社] ○(再)「近作「俳人仲間」」(P140～145)	20本瀧収026	 全231頁
3	「私の好きな句 中塚一碧楼の俳句」(P14～15) 『太陽』No.204(特集 俳人とその職業)[平凡社]	19本瀧収177	 全172頁
3	(参考)『国文学』解釈と教材の研究 第25巻第4号(名作 のなかの女101人)[学燈社] ○「『無限抱擁』の松子」(中島国彦著)(P84～85)	19本瀧収266	 全218頁
3	第82回芥川賞選評 『文藝春秋』第58巻第3号	20切瀧収053-45	 切り取り
4	「中塚一碧楼の俳句」(P285～297) 『俳句の本』第1巻「俳句の鑑賞」[筑摩書房]	19本瀧収168	 全297頁
6	(参考)『銀座の柳』(車谷弘著)[文藝春秋] ○「幾山河」(P63～76)、「銀座の柳」(P118～125)	20本瀧収040	 全270頁
6	巻頭「古語拾遺」に瀧井の自筆俳句2句(P23) 『歴史と人物』第10年第6号[中央公論社] (参考)これに添えて「引けぬ覚悟」(清水義光著)	20切瀧収055-30	 20切瀧収 55-30
7	「書いてみれば分る」(『野草の花』からの引用)(P47) 東京都近県・中学作文コンクール文集『ぶんしゅう』第 20集[八王子高等学校編]	19本瀧収187-7	 八王子高等学校の封筒に収納 全85頁

月	「作品名」『書名/掲載誌』[出版社]等	資料番号	資料写真・特記事項
7	「続牡丹漫筆-須賀川行きなど」(P204～211) 『海』第12巻第7号[中央公論社]	19本瀧収118 20切瀧収054-31	 全360頁
9	第83回芥川賞選評「今回は票が割れて」(P313～314) 『文藝春秋』第58巻第9号	20切瀧収053-46	 切り取り
11	(参考)『大正俳壇史』(村山古郷著)[角川書店] ○瀧井折柴についての記述あり。	20本瀧収042	 全302頁
1.72 昭和 56 年			
2	(参考)『俳句』第30巻第2号[角川書店] ○連載「俳人・瀧井孝作」(上田都史著)「第1章 俳壇事情」P172～185	19本瀧収242-1	 表紙・裏表紙・掲載頁のみ
3	(参考)『俳句』第30巻第3号[角川書店] ○連載「俳人・瀧井孝作」(上田都史著)「第2章 折柴登場」P192～204	19本瀧収242-2	 表紙・裏表紙・掲載頁のみ
3	第84回芥川賞選評「島影」「裸足」(P320～321) 『文藝春秋』第59巻第3号	20切瀧収053-47	 切り取り
4	(参考)『俳句』第30巻第4号[角川書店] ○連載「俳人・瀧井孝作」(上田都史著)「第3章 慕情揺曳」P80～89	19本瀧収242-3	 表紙・裏表紙・掲載頁のみ
5	(参考)『俳句』第30巻第5号[角川書店] ○連載「俳人・瀧井孝作」(上田都史著)「第4章 幻影無惨」P192～211	19本瀧収242-4	 表紙・裏表紙・掲載頁のみ

月	「作品名」『書名/掲載誌』[出版社]等	資料番号	資料写真・特記事項
6	(参考)『俳句』第30巻第6号[角川書店] ○連載「俳人・瀧井孝作」(上田都史著)「第5章 情 愛火急」P152～162	19本瀧収242-5	 表紙・裏表紙・掲載頁のみ
7	(参考)『俳句』第30巻第7号[角川書店] ○連載「俳人・瀧井孝作」(上田都史著)「第6章 家 郷出奔」P206～214	19本瀧収242-6	 表紙・裏表紙・掲載頁のみ
8	『弟・父』刊行 [成瀬書房]	19本瀧収055	 「弟」「父」をそれぞれ一冊つづの 和本とし、一つの帙に収めたもの。 『弟』 全26頁。 『父』 全57頁。限定200部(183部市販)
8	(参考)『俳句』第30巻第8号[角川書店] ○連載「俳人・瀧井孝作」(上田都史著)「第7章 三 人偶会」P170～181	19本瀧収242-7	 表紙・裏表紙・掲載頁のみ
9	(参考)『俳句』第30巻第9号[角川書店] ○連載「俳人・瀧井孝作」(上田都史著)「第8章 秋 郊吟行」P202～216	19本瀧収242-8	 表紙・裏表紙・掲載頁のみ
9	「第85回芥川賞選評」(P343～344) 『文藝春秋』第59巻第10号	20切瀧収053-48	 切り取り
10	(参考)『俳句』第30巻第10号[角川書店] ○連載「俳人・瀧井孝作」(上田都史著)「第9章 往 歳懷談」P274～284	19本瀧収242-9	 表紙・裏表紙・掲載頁のみ
11	(参考)『俳句』第30巻第11号[角川書店] ○連載「俳人・瀧井孝作」(上田都史著)「第10章 海 紅離別」P152～162	19本瀧収242-10	 表紙・裏表紙・掲載頁のみ

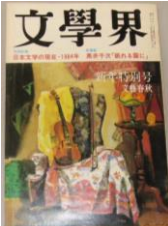
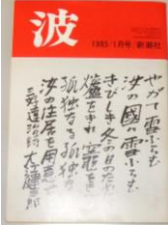
月	「作品名」『書名/掲載誌』[出版社]等	資料番号	資料写真・特記事項
12	(参考)『俳句』第30巻第12号[角川書店] ○連載「俳人・瀧井孝作」(上田都史著)「第11章 大河洋々」P166～178	19本瀧収242-11	 表紙・裏表紙・掲載頁のみ
1.73 昭和 57 年			
1	(参考)『河東碧梧桐 - 俳句と書 -』(沢田大暁著)[東京 19本瀧収186 堂出版] ○「碧梧桐の書」(巻頭) ※扉に瀧井の署名「津田亮一様 瀧井孝作 昭和五十七年一月廿三日 ハ王子市右田病院にて」		 全232頁
2	『芥川賞全集』第1巻 [文藝春秋] 第1回～第5回の選評(P337～362)	19本瀧収095	 全412頁
3	『芥川賞全集』第2巻 [文藝春秋] 第6回～第11回の選評(P351～406)	19本瀧収096	 全457頁
3	「第86回芥川賞選評」(P343) 『文藝春秋』第60巻第3號	20切瀧収053-49	 切り取り
4	『芥川賞全集』第3巻 [文藝春秋] 第12回～第20回の選評(P340～400)	19本瀧収097	 全444頁
4	(参考)『明治大正俳句史話』(村山古郷著)[角川書店] ○「新傾向俳句運動の展開」(P146～158)	20本瀧収024	 全291頁
4	(参考)『昭和寫真・全仕事』SERIES 1(秋山庄太郎著)[朝 20本瀧収049 日新聞社] ○瀧井のポートレート(P45)		 全152頁

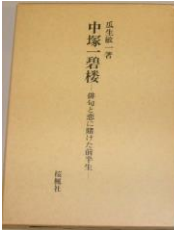
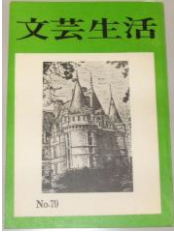
月	「作品名」『書名/掲載誌』[出版社]等	資料番号	資料写真・特記事項
5	『芥川賞全集』第4巻 [文藝春秋] 第21回～第27回の選評(P404～465)	19本瀧収098	全522頁 
6	『芥川賞全集』第5巻 [文藝春秋] 第28回～第40回の選評(P394～511)	19本瀧収099	全632頁 
6	(参考)『文学界』第36巻第6号 [文藝春秋] ○「芥川賞のことなど」(近藤信行による談話筆記)(P236～242)、「付記 瀧井孝作氏の近況」(近藤信行著)	20切瀧収054-49	
7	『芥川賞全集』第6巻 [文藝春秋] 第41回～第50回の選評(P374～461)	19本瀧収100	全539頁 
7	(参考)『自由律俳句文学史』(上田都史著)[永田書房] ○瀧井についての記述あり。	20本瀧収005	全369頁 
7	(参考)『俳人・瀧井孝作』(上田都史著)[永田書房] ○「俳句」への連載(19切瀧収242)をまとめたもの。	20本瀧収006	全268頁 
8	『芥川賞全集』第7巻 [文藝春秋] 第51回～第58回の選評(P346～418)	19本瀧収101	全464頁 
8	(参考)『名作こぼれ話』(巖谷大四著)[文化出版局] ○『無限抱擁』『味のある文』と芥川が激賞」(P103～105)	20本瀧収007	全281頁 

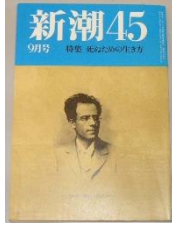
月	「作品名」『書名/掲載誌』[出版社]等	資料番号	資料写真・特記事項
9	『芥川賞全集』第8巻 [文藝春秋] 第59回～第65回の選評(P497～556)	19本瀧収102	  全618頁
10	『芥川賞全集』第9巻 [文藝春秋] 第66回～第68回の選評(P352～368)	19本瀧収103	  全402頁
11	『芥川賞全集』第10巻 [文藝春秋] 第69回～第74回の選評(P399～440)	19本瀧収104	  全507頁
12	『芥川賞全集』第11巻 [文藝春秋] 第75回～第78回の選評(P345～369)	19本瀧収105	  全414頁
1. 74 昭和 58 年			
1	『芥川賞全集』第12巻 [文藝春秋] 第79回～第86回の選評(P343～406)	19本瀧収106	  全456頁
8	『折柴句集』復刻版 [日本近代文学館]	19本瀧収056	  やぼんな書房刊 の初版本(19本 瀧収005)の復刻 版
1. 75 昭和 59 年			
2	(参考)『俳句四季』第1巻第2號 [ギャラリー四季] ○「瀧井孝作と俳句の出会い」(上田都史著)(P32～ 33)	19本瀧収244	 全64頁
4	「鮎の宿」(「鮎釣風景」の一部)(P75～77) 『日本の名随筆』18 「(歳時記)夏」[作品社]	19本瀧収206	  全258頁

月	「作品名」『書名/掲載誌』[出版社]等	資料番号	資料写真・特記事項
6	「朴の葉」(P14～19) 『日本の名随筆』20「(歳時記)冬」[作品社]	19本瀧収222	 

1.76 昭和 60 年

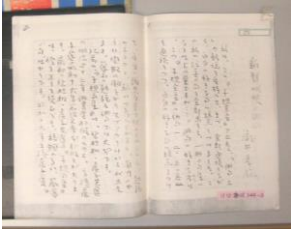
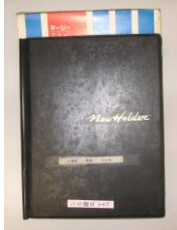
1	『無限抱擁』[中央公論社]	18本瀧収029 19本瀧展057	 『瀧井孝作全集』第一巻の「無限抱擁」を独立させ出版したもの H19展示中
1 (参考)	『文学界』第39巻第1号[文藝春秋] ○瀧井孝作追悼「羊羹色の理想主義」(岡松和夫著 P172～175)、「瀧井さんのこと」(藤枝静男著P175～ 177)、「瀧井孝作の位地 -ある前衛主義のゆくえ-」 (磯田光一著P178～185)	19本瀧収241	 全360頁
1 (参考)	『群像』第40巻第1号[講談社] ○瀧井への追悼文「瀧井さんのこと」(藤枝静男P352 ～353)、「瀧井孝作氏を偲ぶ」(紅野敏郎著P354～357)	19本瀧収249	 全484頁
1 (参考)	『波』第19巻第1号[新潮社] ○「一生の春」(追悼文 小町谷新子著)(P16～17)	19本瀧収265	 全80頁
3	『定本 瀧井孝作全句集』[中央公論社]	19本瀧展058	 『瀧井孝作全集』第十一巻の 俳句集に38句を加え、索引を付し たもの。全340頁 H19展示中
3 (参考)	『麻』第18巻第3号[麻俳句会] ○「秋風哀惜 -瀧井孝作先生の死を悼む-」(奥田 杏牛著)(P8～11)	19本瀧収248	 全28頁
4 (参考)	『新作家』第24号[新作家協会] ○「瀧井孝作先生逝く」(追悼文 長尾忠一著)(P138～ 145)	19本瀧収264	 全200頁

月	「作品名」『書名/掲載誌』[出版社]等	資料番号	資料写真・特記事項
7	(参考)『短歌研究』第42巻第7号[短歌研究社] ○「制作は発見なり」(「特集資料 名作はどう組み立てられているか」にて一部引用P63)	19本瀧収247	 全171頁
11	(参考)『句文集・応鼓』(奥田杏牛著)[神無書房] ○瀧井の一周忌にあたり、瀧井の「制作は発見也」「俳句は物体を示す」に応える気持ちで命名された句文集。 奥田の俳句と瀧井についての随筆をまとめたもの。	20本瀧収025	 全241頁
12	(参考)『女の記号学』(江藤淳著)[角川書店] ○「松子の素足」(P164～171)、「女の母親」(P172～179)(共に「無限抱擁」の登場人物について記述したもの)	20本瀧収036	 全198頁
1.77 昭和 61 年			
1	(参考)『中塚一碧楼－俳句と恋に賭けた前半生－』[桜楓社] ○瀧井についての記述・瀧井の俳句引用あり	19本瀧収251	  全413頁
3	(参考)『文芸生活』第79号 [新文化社] ○「大手毬の花びら－瀧井孝作先生への追想－」(中村正樹著)(P36～50)	19本瀧収246	 全66頁
3	(参考)『書の交響』(石川九楊著)[筑摩書房] ○「書き馴れた眼 瀧井孝作」(P115～119)	20本瀧収039	 全239頁 索引14頁
6	(参考)別冊『墨』第5号「現代芸術家の書」[芸術新聞社] ○瀧井の書「吹晴て／乱れて今朝の／白牡丹」(P228)	19本瀧収176	 全272頁

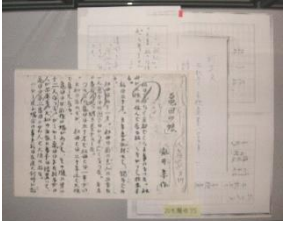
月	「作品名」『書名/掲載誌』[出版社]等	資料番号	資料写真・特記事項
1. 78 昭和 62 年			
7	(参考)『近代俳人列伝』第3巻(上田都史著)[永田書房] 20本瀧収004 ○「瀧井孝作」(P20～35)		 全339頁
9	(参考)『新潮45』第6巻第9號 ○「想像力に訴えるチャリズムの美学」(「初めての女」 『俳人仲間』の一節より。中村武志著)(P164～171)	19本瀧収267	 全282頁
1. 79 平成元年			
3	(参考)『連雀』通巻第4巻第2號[連雀俳句会会報] ○「奥飛騨紀行『雪の匂ひ』」(奥田杏牛著 瀧井の墓参りの時のことについて)(P11～17)	19本瀧収261	 全19頁
3	(参考)『我孫子市史研究』第13號[我孫子市教育委員 会] ○「対談『無限抱擁』の頃ー我孫子時代を語り合ー」 (聞き手 小熊勝夫)(P257～270)	19本瀧収201	 全331頁
4	(参考)『清春』11號(清春芸術村十周年記念號) ○「清春の桜」(横佐知子著 瀧井との思い出に触れる)(61～63)	19本瀧収262	 全71頁
5	「結婚まで」「慾呆け」「山女魚」「積雪」「父祖の形見」「伐り禿山」「山の姿」「野趣」「俳人仲間 第三篇 初めての女」(P693～807) 『昭和文学全集』7 [小学館] (参考)「瀧井孝作・人と作品」(川村湊著)、「瀧井孝作年譜」(保昌正夫編)。月報29(H1.4)挿込。「『俳人仲間』のころ」(山高登著)	19本瀧収094	 全1198頁
7	(参考)『文藝春秋』第67巻第8號 ○P352とP353の間の広告に、瀧井の文机の写真と説明あり	19本瀧収263	 全464頁

月	「作品名」『書名/掲載誌』[出版社]等	資料番号	資料写真・特記事項
12	瀧井著の俳句1句(P84) 『秀句350選』16「食」[蝸牛社]	19本瀧収224	全206頁 
1.80 平成2年			
11	「大火の夜」(P129～134)、「近所の丘」(P135)、「みなも と近く」(P136～137)、「一本橋」(P138～140) 『わが町三丁目』[八王子市子安町三丁目会]	19本瀧収228	全220頁 
8	(参考)NHK趣味百科『俳句』平成2年8月～9月号[日本 放送出版協会] ○「リズムと切字」(P18に瀧井の俳句1句、石原ハ束 著)(P16～19)	19本瀧収252	
10	『瀧井折柴の句評回覧雑誌』 ※15歳の瀧井が俳句仲間二人と好きな句・難解な句 の感想を順に書いて回覧したものが瀧井家から見つか り、それに解説を付けて7回忌法要に親しい人に配布し たもの。	17そ104図-瀧 20本瀧収051 20本瀧収052	全7頁 
1.81 平成3年			
2	(参考)『図書』第500号[岩波書店] ○「初めと終りの読書」(小町谷新子著)(P1)	19本瀧収245	全24頁 
1.82 平成4年			
4	「定型と自由律と」(P464～475) 『碧梧桐全句集』(瀧井孝作監修 栗田靖編集)[蝸牛 社]	19本瀧収115	全615頁 
9	『無限抱擁』[岩波書店] 岩波文庫31-093-1	19本瀧展013-2	H19展示中 

月	「作品名」『書名/掲載誌』[出版社]等	資料番号	資料写真・特記事項
9	「なつかしき人々ー解説」(P233～239) 『なつかしき人々ー碧梧桐随筆集ー』(瀧井孝作編纂)[桜楓社]	19本瀧収114	全239頁 
1.83 平成 10 年			
7	「山女魚」(P132～140)。対談「瀧井孝作追想」(小池邦夫・大河内昭爾)(P4～20) 『季刊文科』第8号[季刊文科編集部] (参考)「瀧井孝作私記」(保昌正夫著P118～121)、「父の残した家」(小町谷新子著P122～126)、「『俳人仲間』のことなど」(近藤信行著 P127～131)。「編集後記」(大河内昭爾P141)	19本瀧収234	全142頁 
1.84 平成 11 年			
1	『松島秋色』[講談社文芸文庫]	18本瀧収021 18本瀧収352	
1.85 平成 16 年			
6	(参考)『墨』2004年5・6月号 168号[芸術新聞社] ○企画「漢碑の気・瀧井孝作の書」	18本瀧収076	
1.86 平成 17 年			
8	『無限抱擁』[講談社文芸文庫]	18本瀧収020	
1.87 その他資料			
-	(参考)『日本及日本人』各地俳況消息抜書 ○510号(M42.6.1)～597号(T2.1.1)関係箇所抜粋	17そ107図-瀧	
	『東京都近県・中学作文コンクール文集』①ぶんしゅう 19本瀧収187-1 (文集)[八王子高等学校編] 瀧井のコンクール評の複写を綴ったもの(全21集分) ※下記参照		 八王子高等学校の封筒に収納
	「寸評」第1集S35.12.15(6頁)、「中学生の作文」第2集S37.1.15(6頁)、「子供の作文」第3集S38.3.1(6頁)、「こんどの子供の作文」第4集		

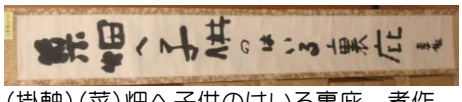
月	「作品名」『書名/掲載誌』[出版社]等	資料番号	資料写真・特記事項
	S39.3.1(6頁)、「力をこめて描くこと」第5集S39.12.21(6頁)、「童心と観察と」第6集S40.12.15(6頁)、「題材と観察」第7集S41.12.10(6頁)、「原稿の字」第8集S43.2.1(6頁)、「心をこめて書くこと」第9集S44.2.20(6頁)、「十年目の文集」第10集S45.2.28(6頁)、「童心」第11集S46.2.28(6頁)、「選評に同感」第12集S47.2.28(6頁)、「風景は好き」第13集S48.3.10(6頁)、「強い作文三つ」第14集S49.1.20(6頁)、「新鮮な描寫」第15集S50.2.10(9～10頁)、「感想文はつまらない」第16集S51.3.1(11頁)、「無邪気な作文を欲しい」第17集S52.4.15(8頁)、「佳いのは無い」第18集S53.3.10(9頁)、「出色のもの三等」第19集S54.3.5(9頁)、「自転車旅行について」第20集S55.7.1(9頁)、「三つの作文」第21集S56.3.3(2～3頁)		
	「散歩の盡くる處」 人々の足よりも心がよく動いて繁昌といふ事が大きい……	18原瀧収332	 原稿用紙14枚。原稿用紙に「層雲」と印字してある。 (原稿)
	「ルペール ジュダ(モウパッサン)」 すべて此国には驚くべきものがあつた……	18原瀧収341-2	 原稿用紙15枚。手記ノートにはさまっていたもの (原稿)
	『子規全集』第3巻の解説の原稿	18切瀧収344-2	 コピー用紙23枚 (原稿)
	人物評、将棋、その他	18切瀧収347	 (切抜・ファイル)
	「直筆原稿 瀧井孝作氏」 (原稿・ファイル) ○岐阜新聞(岐阜日日新聞)掲載の原稿と思われる	18原瀧収386	
	「瀧井孝作氏 1894(明27)4.4～1984(昭59)11.21」 (原稿・ファイル) ○岐阜日日新聞掲載の対談記事「体当りの文学」の切り抜き、新聞記事のための自筆原稿、タイトル用の書、俳句の自筆原稿、玉田氏宛の書簡、写真など	18原瀧収387-1	
	「飛騨の言葉の美しさ」 「ラヂオ年賀状」の原稿	14原123図一瀧	

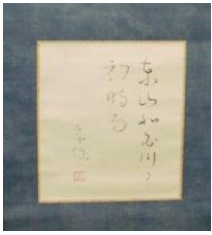
月	「作品名」『書名/掲載誌』[出版社]等	資料番号	資料写真・特記事項
	芸術院会員に推挙されたときに書いたと思われる原稿の一部 (原稿)	14原126図一瀧	1 頁目欠落
	芥川賞選評原稿下書き 木崎さと子『裸足』2枚 土屋良一『島影』5枚 森瑤子『誘惑』2枚 (原稿)	14原127図一瀧	第82回 芥川 賞予選通過作 品リスト 2枚付 き
	小説、随筆、俳句、エッセイ、解説、座談会等ファイル (切抜、原稿)	17そ123図一瀧	
	瀧井孝作筆原稿 「推薦文」リスト (1枚 鉛筆書き) (原稿)	20原瀧収072-1	
	瀧井孝作筆原稿 「十月十九日～」(1枚 鉛筆書き) (原稿)	20原瀧収072-2	
	瀧井孝作筆原稿 「熊本から航空便にて～」(1枚 鉛筆書き) (原稿)	20原瀧収072-3	
	瀧井孝作筆原稿 「数え日に到来の～」(1枚 黒インクにてペン書き) (原稿)	20原瀧収072-4	
	瀧井孝作筆原稿 「夏の花など」(6枚 鉛筆書き) (原稿)	20原瀧収072-5	

月	「作品名」『書名/掲載誌』[出版社]等	資料番号	資料写真・特記事項
	(参考)『「もうとのもんだい」の問題』(齋藤三郎民著) ○執筆原稿	20原瀧収073	 『妹の問題』(19本瀧収001)表紙裏に挿み込んであったもの。
	複写 亀田の娘、他 20原瀧収069、20原瀧収072のコピー。「亀田の娘」(4 枚分×3部)他17枚 (複写)	20そ瀧収075	

2 書・絵画など

作者、作名、読み下し、資料写真	資料番号
2.1 絵画	
	ヤノス・ヴァッサリー (ハ ンガリー)「少年の顔」 (関連『一生の春』P.239 ～240)
	原勝四郎「コップに赤 椿」
	イザベル・ルオー 14絵097図－瀧 「Nature morte aux citrons」
	イザベル・ルオー 14絵098図－瀧 「Italie II」
2.2 小町谷新子芋版画	
	「山吹はさ庭の地の高み 17そ93図－瀧 哉 孝作」
	田濁りを打ち切って澄む 17そ94図－瀧 杜若 孝作
	川筋や眺めのかぎり赤 17そ95図－瀧 蜻蛉 孝作
	川筋や眺めのかぎり赤 17そ96図－瀧 蛉 孝作

作者、作名、読み下し、資料写真	資料番号
	飛騨山の腰高障子に人と 17そ97図－瀧 成 孝作
	奥まりてひときは赤き椿か 17そ98図－瀧 な 孝作
	風強し吹かれ綻ぶさくら 17そ99図－瀧 かな
	せきれい逐へり春 17そ100図－瀧 昼の漬水になりゆく
2.3 書	
	屏風(短冊10枚) 17そ131図－瀧 瀧井老楽の還暦の 祝いの短冊を集め たもの
	瀧井孝作筆の軸 20墨瀧収078 「消しゴムと／鉛筆 の机／蓮餅」
	瀧井孝作筆の墨筆 20墨瀧収079 「吹き晴て／乱れて 今朝／の／白牡丹」
	掛軸「体当りの文学」 18墨瀧収349
	18墨瀧収405 (掛軸)(菜)畑へ子供のはいる裏庇 孝作

作者、作名、読み下し、資料写真	資料番号
 軸(色紙幅)「東山の 20 墨瀧収084 俳句」「東山北白川の 初時雨 孝作」	
 俳句貼交衝立 14工004図一瀧 「かかり貼針はずす 手の中にやさしき ／夜明方底に濺ぐ 花の雨／秋草や昼 は障子を外づし置 ／手毬唄手紙の中に籠子なる」	

2.4 写真



瀧井孝作ポートレート、書 18写瀧収387-5
斎にて、アップ



瀧井孝作ポートレート、書 18写瀧収387-6
斎にて、横向き



瀧井孝作と玉田 18写瀧収387-7
氏？書斎にて



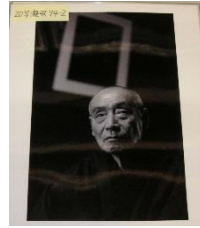
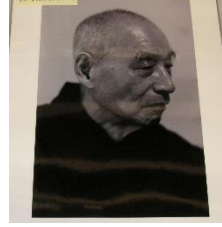
瀧井孝作と玉田 18写瀧収387-8
氏？瀧井邸庭にて

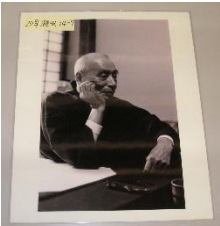
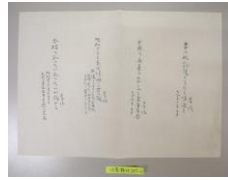
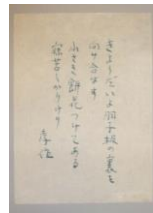
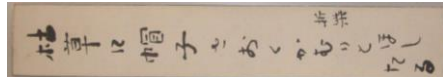
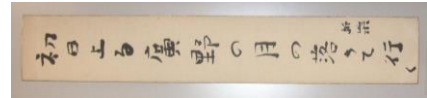
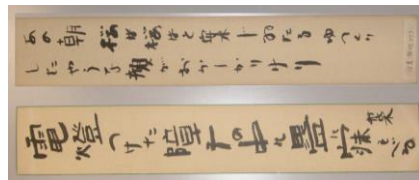
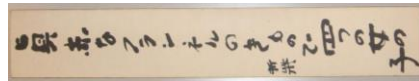
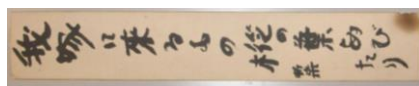
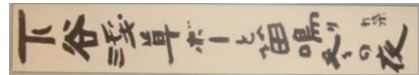
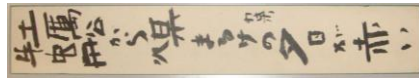
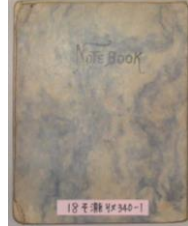


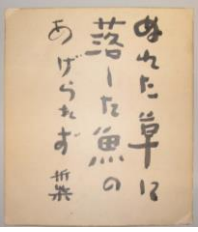
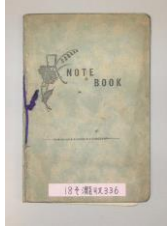
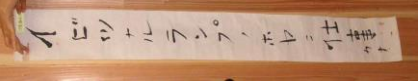
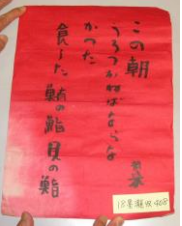
瀧井孝作・リン夫妻、瀧井 18写瀧収387-9
邸庭にて



瀧井孝作・リン夫妻、瀧井 18写瀧収387-10
邸塀外路上にて

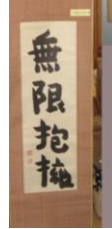
作者、作名、読み下し、資料写真	資料番号
 肖像写真(瀧井孝作)	18写瀧収402
 写真(瀧井孝作)	18写瀧収403
 写真(瀧井孝作)	18写瀧収404
 瀧井孝作ポートレート	20写瀧収074-1
 瀧井孝作ポートレート	20写瀧収074-2
 瀧井孝作ポートレート	20写瀧収074-3
 瀧井孝作ポートレート	20写瀧収074-4
 瀧井孝作ポートレー ト	20写瀧収074-5
 瀧井孝作ポートレー ト	20写瀧収074-6

作者、作名、読み下し、資料写真	資料番号	作者、作名、読み下し、資料写真	資料番号
 瀧井孝作ポートレート	20写瀧収074-7ト	 俳句切れ	18原瀧収387-11
2.5 書簡(資料写真省略)		 俳句切れ	18原瀧収387-12
芥川龍之介よりの書簡(封書)	14そ130-1図一瀧	 18墨瀧収391	枯草に帽子をおくかむりとほしたる
川端康成よりの書簡(封書)	14そ130-2図一瀧		
志賀直哉よりの書簡(葉書)	14そ130-3図一瀧	 18墨瀧収392	初日上る廣野の月の落ちて行く
瀧井孝作宛 加藤専一 書簡	18書瀧収131, 18書瀧収276~18書瀧収279		
瀧井孝作宛 福田夕咲 書簡	18書瀧収173~18書瀧収242, 20書福収131~20書福収133	 18墨瀧収393	電燈つけた障子の中の畳に寐そべる
瀧井孝作宛 室生犀星 書簡(封書)	18書瀧収252, 18書瀧収253		
瀧井孝作宛 横光利一 書簡(葉書)	18書瀧収257	 18墨瀧収394	眞赤なフランネルのきもので四つの女の子
瀧井孝作宛 川端康成 書簡(葉書)	18書瀧収258		
瀧井孝作宛 菊地寛 書簡(封書)	18書瀧収266	 18墨瀧収395	我家に来るもの樅の葉あびたり
瀧井孝作宛 下島勲 書簡(封書)	18書瀧収271~ 18書瀧収275		
瀧井孝作宛 吉屋信子 書簡	18書瀧収280~ 18書瀧収284	 18墨瀧収396	下谷浅草ボーと笛鳴り冬の夜
瀧井孝作宛 早船ちよ 書簡	18書瀧収286~ 18書瀧収289		
瀧井孝作宛 武者小路実篤 書簡(葉書)	18書瀧収319	 18墨瀧収397	牡蠣船から煤まるけの夕日が赤い
瀧井孝作宛 山本健吉 書簡(封書)	18書瀧収320		
瀧井孝作宛 阿川弘之 書簡(封書)	18書瀧収322	 18墨瀧収398	蜜柑の荷土間の高窓の二つ
2.6 俳句			
 瀧井孝作の俳句ノート 18そ瀧収330 (M45)		 18墨瀧収399	母をこぼし彼の部屋々々の思はるゝかな
 瀧井孝作の俳句ノート 18そ瀧収340-1 (大阪)			
 瀧井孝作筆 俳句 18そ瀧収340-2 メモ断片			

作者、作名、読み下し、資料写真	資料番号	作者、作名、読み下し、資料写真	資料番号
 ぬれた草に落した魚 のあげられず	18墨瀧収400	 瀧井孝作の手記ノート	18そ瀧収336
 イビツナルランブノホヤニ仕事カナ	18墨瀧収406	 瀧井孝作の日記帳(断片)	18そ瀧収337
 小道をとほす立枯 の豆畑	18墨瀧収407	 瀧井孝作の手記ノート(緑表紙)	18そ瀧収338
 この朝うろつかねばな らなかつた食うた鮪の 鰯貝の鰯	18墨瀧収408	 瀧井孝作の手記ノート(大正5年10月12月)	18そ瀧収339
2.7 その他		 瀧井孝作の手記ノート(大阪)	18そ瀧収341-1
 瀧井孝作の手記ノート	18そ瀧収331-1	 瀧井孝作の手記ノート	18そ瀧収342
 瀧井孝作の日記 ※表紙に赤鉛筆で「東京」と注記あり	18そ瀧収333		
 瀧井孝作の手記ノート (大正6年10月より大正7年2月末まで)	18そ瀧収334		
 瀧井孝作の手記ノート (東京大正中)	18そ瀧収335		

3 その他出来事など

年月	内 容	資料番号	資 料 写 真
S44	「飛騨高山」墨書、額入 高山市公式意匠登録(ポスター用原書)	20墨瀧展082	H20展示中
S49.11	『無限抱擁』文学碑建立 文学散歩道	14絵069図一瀧	和紙、絹地、黒檀の軸木 箱書「無限抱擁 飛騨里文学碑 自書」
S53.9	高山祭りの幟字『飛騨高山』		



高山市近代文学館調査・研究報告書

平成二十七年三月発行

編集 一般社団法人高山市文化協会